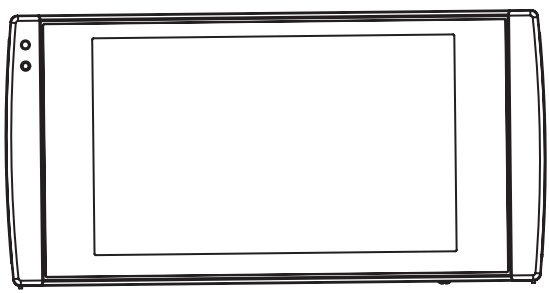
TX-700
メモリーカードプレーヤー



取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記載されているかお確かめください。

LST0686-001I

もくじ

はじめに

もくじ 2
安全上のご注意 4
正しくお使いいただくためのご注意 ... 12
各部のなまえとはたらき 14
本機を使用するまでの流れ 16

準備

Step1：付属品と用意するもの 18
Step2：SD メモリーカードを入れる 19
Step3：本機と AC アダプターを
つなぐ 20
Step4：SD メモリーカードを
フォーマットする 21
Step5：USB メモリーから
映像ファイルを入れる 24

設定

設定する前に 26
設定時に使用するボタン 26
選択項目の見かた 26
各映像ファイルの設定する内容を
確認する 27
設定項目と内容 28
設定画面構成 30
Step6：現在の日時を設定する 32
Step7：再生する映像を選ぶ
（再生映像設定） 34
Step8：再生時間を設定する 36
毎日同じ時間に映像を繰り返して
再生する （タイマー設定） 36
毎週決まった曜日に再生する 40
毎月決まった日にち再生する 44
決まった期間に再生する 48

設置

Step9：設置場所に取り付ける 52
本機を設置する 52
”はじめから再生”ボタンシールを
本機に貼る 53

必要に応じて･･･

明るさ・音量を調節する 54
明るさを調節する 54
音量を調節する 54
" はじめから再生 " ボタンを使う 55
手動で電源を ON/OFF 56
手動で電源を ON にする 56
手動で電源を OFF にする 56
映像ファイルを編集する 57
時計用ボタン電池を交換する 58
マグネット付 L 字金具を使った設置 59
L 字金具を使って設置する 59
高さ・角度を調節する..... 61
L 字金具を取りはずす 62
梱包のしかた 63

困ったときは･･･

こんなときは 64
保証とアフターサービスについて 65
仕様 67

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意　操作上の注意が書かれています。

メモ　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などの マークは省略してあります。

●Windows, Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

「安全上のご注意」は、本機全般に共通する内容を記載しています。

絵表示について

この取扱設置説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠注意	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


手をはさまれないよう注意


感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

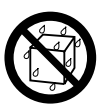

注意


水場での使用禁止


ぬれ手禁止


分解禁止


接触禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号


電源プラグを抜く


一般的指示

⚠警告

異常が発生した場合について

■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない
火災や感電の原因となります。

- 煙がでている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。
お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

電源について

■ 表示された電源電圧（交流 100V）以外で使用しない
火災・感電の原因となります。

■ 船舶などの直流 [DC] 電源に接続しない
火災の原因となります。

■ トラックやバスなどの DC24V 電源に接続しない
火災の原因となります。



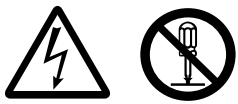
■ 接続する装置の消費電力の合計が AC アウトレットに表示されている電力を超えて使わない
火災の原因となります。
この機器の AC アウトレットが供給できる電力は制限されています。

安全上のご注意(つづき)

⚠警告

取り扱いについて

■ この機器の(リアカバー、キャビネット)ははずしたり、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



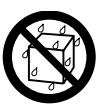
■ 不安定な場所に置かない
ぐらついている台の上や傾いたところに置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となりますい。

■ 通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱がこもり火災の原因となります。次のことにご注意ください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さまにしない。



■ 本機の内部に物を入れない
通風孔やカード出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。

■ この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



■ 風呂場など水のある場所で使わない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときはご注意ください。



■ 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



電源コードについて

■ **電源コードを本機以外で使用しない**
電源コードを本機の製品以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■ **電源コードを傷つけない**
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。



■ **電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない**
ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



ボタン電池について

■ **ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところに置く**
使用する際も小さなお子様が使用機器（または充電器）から取り出さないように注意してください。
万一、お子様が飲みこんだ場合は、すぐに医者と相談してください。



安全上のご注意(つづき)

⚠注意

電源コード･電源プラグ･ AC アダプターについて

■ **専用の AC アダプターを使う**
指定以外のものを使用すると火災や感電の原因となることがあります。

■ **機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ**
コンセントに差したまま接続すると､感電の原因となることがあります｡また､本機の AC アダプターは DC プラグを本機についないでから､壁のコンセントに差してください。



■ **電源プラグはコードの部分を持って抜かない**
電源コードを引っ張ると､コードに傷がつき､火災･感電の原因となることがあります｡プラグの部分を持って抜いてください。

■ **電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない**
発熱して､火災の原因となることがあります｡販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



■ **電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く**
壁側のコンセントから抜かないと感電の要因となることがあります。
電源コードは壁側のコンセントから先に抜き､そして､本機側の順で抜きます｡また､抜くときは必ずプラグを抜いてください。

■ **DC プラグの抜き差しは電源プラグを抜いてから行なう**
DCプラグの抜き差しを行なう場合は､必ず電源プラグを抜いてから行なってください。



取り扱いについて

■ **次のような場所に置かない**
火災や感電の原因となります。
- 湿気やほこりの多い所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 熱器具の近くなど
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



■ **この器機の上に重い物を置かない**
重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となりことがあります。



■ **この器機の上に乗らない、ぶら下がらない**
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となりことがります。
特に小さいお子様には注意してください。



■ **長期間使用しないときは、電源プラグを抜く**
安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。



■ **梱包箱や梱包装などは、小さなお子様の手の届くところに置かない**
遊びに使ったりすると、けがや窒息の原因となることがあります。



■ **長時間、音がひずんだ状態で使わない**
スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意

移動について

■ **本機の上に他の機器を載せたまま移動しない**
倒れたり､落下したりして､けがの原因となることがあります。



■ **移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす**
接続したまま移動すると､コードに傷がつき､火災や感電の原因となることがあります。



手入れについて

■ **２～３年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する**
内部にホコリがたまったまま使用すると､火災の原因となることがあります｡特に､湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



■ **お手入れするときは電源プラグを抜く**
感電の原因となることがあります。



落下防止について

■ 転落防止のため次のような処置をする

地震などで転倒すると、けがの原因となることがあります。壁または柱などに固定するときは、本体背面スタンドの穴を利用し、丈夫なひもなどで壁や柱に固定する。その際、柱や壁は確実に固定できる場所を選ぶ。

※ ワイヤー、ネジなどは市販品をご利用ください。



音量について

■ 音量を下げてから電源を入れる（機械式ボリュームの場合）

音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 聞き終わったら、電源を切る前に音量を下げる（電子式ボリュームの場合）

音量が上がっていると、電源を入れたときに突然大きな音がでて聴力障害などの原因となりことがあります。



ボタン電池について

■ ボタン電池をそのまま廃棄しない

電池を絶縁状態にせずそのまま廃棄したり、金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりすると、発火、破裂の原因となります。

電池を廃棄する際は、⊕⊖ 端子のどちらかあるいは両方に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「不燃ゴミ」として数個単位で廃棄してください。



正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かない

誤作動の原因になります。

- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（20%～ 80%）範囲外のところ
- 変圧器やモータなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

設置について

■ コンセントの近くに設置する

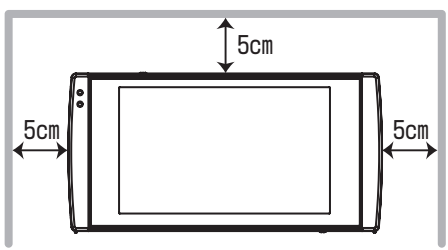
コンセントの近くに設置してください。そして、そのコンセントの周囲は電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。本機は電源プラグをコンセントに差し込むと、電源「入」または「スタンバイ」の状態になります。POWER(電源)ボタンを完全にきることはできません。

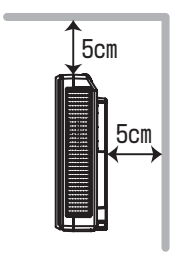
■ 壁や他の機器と間隔をあけて設置してください。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

次のことに注意してください。

- 壁の家具などから 5 ㎝以上離す。
- 他の機器との間隔をあける
- ラックなどに入れたときは、機器の天面から 5 ㎝以上、背面 5 ㎝以上すき間をあける





この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

取り扱いについて

■ 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。

■ 本機の上部に水の入ったもの(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■ 内部に物をいれない
火災や感電の原因となります。

■ 適度な明るさの中で使用する
暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
また、連続して長い時間、画面を見ることも目を疲れさせますのでよくありません。

■ 設置状況や環境によって画像が揺れるときは使用しない。
視力低下の原因となります。

■ メモリーカードを挿入する際は電源を切る
SDメモリーカードを本機のカード挿入口に抜き差しする際、必ず本機の電源を切ってください。

■ メモリーカードおよび、コンテンツに起因する不具合については保証対象外になります。また、コンテンツ内容に関する著作権、発生特許におきましては、弊社は一切責任を負いません。

■ メモリーカードにラベルやシールを貼らない
メモリーカードが抜けなくなり、故障の原因となります。

省エネについて

長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

お手入れについて

■ 筐体の汚れは電源を切り、柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

■ 移動するときは接続コード類をはずす
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源コード、AC アダプターについて

■ 付属のACアダプターは本機以外の機器で使わない。

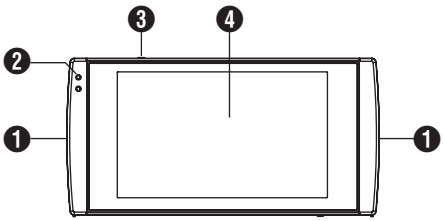
■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

■ AC アダプターは、本機に付属のものを使用する
電圧の異なるものを使用すると、火災や感電の原因となります。

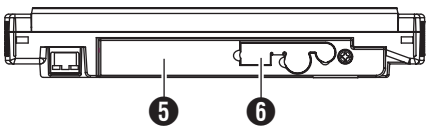
MP3 ファイルについて

■ 本機は DRM(ダウンロードライセンス付)ファイルには対応しておりません。
万が一DRMのファイルを本機に取り込んだ場合、予期せぬ不具合が発生する場合があります。

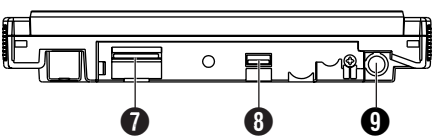
各部のなまえとはたらき



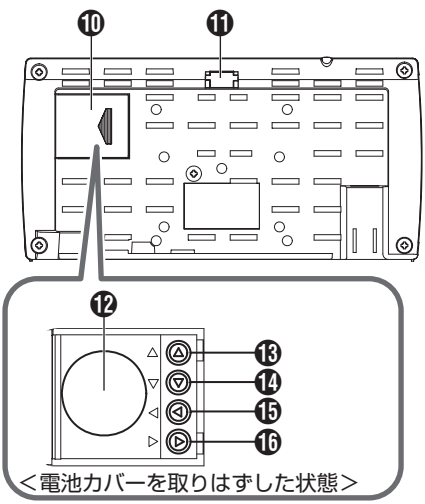
＜前面＞



＜底面＞



＜底面カバーを取りはずした状態＞



＜電池カバーを取りはずした状態＞

＜背面＞

❶ スピーカー

SD メモリーカードからの再生音声を出力します。

❷ 電源ランプ / タイマーランプ

下記の状態のときに点灯します。

電源 ON のとき	緑色
タイマーセット ON で動作状態のとき	オレンジ色
タイマーセット ON で待機状態のとき	赤色

❸ セットボタン / はじめから再生ボタン

- メニュー表示中、設定値の登録時に押します。
- メニューが表示されていないときにボタンを押すと、SD メモリーカードの映像をはじめから再生します。
(☞ 55 ページ)

❹ 7 型 TFT 液晶パネル

SD メモリーカードに保存されているの映像ファイル、メニュー画面を表示します。

❺ 底面カバー

下記のときに取りはずします。

- SD メモリーカードを入れる / 取り出すとき
- AC アダプターをつなぐとき

❻ 端子カバー

下記のときに開けます。

- USB メモリーをつなぐとき

❼ SD カードスロット

SD メモリーカードを入れます。
(☞ 19 ページ)

❽ USB 端子

USB メモリーを接続します。

❾ DC 入力端子
付属の AC アダプターを接続します。
(☞ 20 ページ)

❿ 電池カバー
下記のときに取りはずします。
- ボタンで設定の変更を行うとき
- 電池の設置・交換を行うとき

⓫ 目立ちライト
本機背面の商品をライトアップするときに点灯させます。

⓬ 時計用ボタン電池
- 本機の現在日時設定、再生時間設定を保存します。
- 工場出荷時には、時計用ボタン電池が取り付けられています。

⓭ △ ボタン
メニュー設定の時、カーソルが上に動きます。(☞ 26 ページ)
- 映像再生の時、画面を明るくします。(☞ 54 ページ)

⓮ ▽ ボタン
- メニュー設定の時、カーソルが下に動きます。(☞ 26 ページ)
- 映像再生の時、画面を暗くします。(☞ 54 ページ)

⓯ ◁ ボタン
- メニュー設定の時、カーソルが右に動きます。(☞ 26 ページ)
- 映像再生の時、音量が上がります。(☞ 54 ページ)

⓰ ▷ ボタン
- メニュー設定の時、カーソルが左に動きます。(☞ 26 ページ)
- 映像再生の時、音量が下がります。(☞ 54 ページ)

本機を使用するまでの流れ

準備する

Step1 付属品と設置に必要な物を準備する 18ページ

Step2 本機にSDメモリーカードを入れる 19ページ

Step3 本機とACアダプターを接続する 20ページ

Step4 SDメモリーカードをフォーマットする 21ページ

Step5 USBメモリーから映像ファイルを入れる 24ページ

設定する

Step6 現在の日時を設定する 32ページ

Step7 再生する映像ファイルを選ぶ 34ページ

Step8 再生時間を設定する

- 毎日同じ時間に再生する 36ページ
- 毎週同じ曜日に再生する 40ページ
- 毎月同じ日にちに再生する 44ページ
- 決まった期間に再生する 48ページ

設置する

Step9 本機を設置場所に取り付ける - - - - - - - 52ページ

完了

Step1：付属品と用意するもの

■ 本機の付属品

必ず
ご覧ください

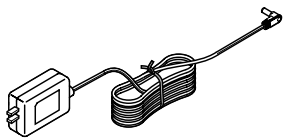


取扱説明書
×1



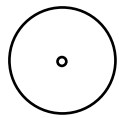
TX-700で利用されているオープンソースソフトウェアについて　×1

接続するときに必要なもの



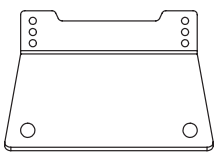
ACアダプター
×1

映像ファイルの編集、
書き込みに必要なもの



CD
（パブリオ・レイアウト
・エディター）

設置するときに必要なもの



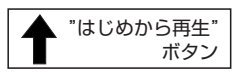
簡易スタンド
×1



スタンド取付ネジ
（M3）×2



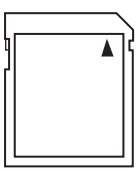
フット×2



"はじめから再生"ボタン
シール　×1

■ 用意するもの

映像ファイル



SDメモリーカード



映像ファイルの入った
USBメモリー

設置するとき



プラスドライバー



落下防止ワイヤー
（設置時に必要）

メモ：

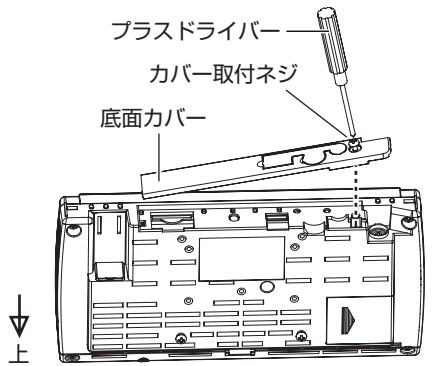
- USB メモリーは、必ずパブリオ・レイアウト・エディターで作成した映像ファイルを入れてください。パブリオ・レイアウト・エディターで作成したファイルでないと、SD メモリーカードに転送できません。
- 万一付属品に不足しているものがありましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店までご連絡ください。

Step2：SD メモリーカードを入れる

- 本機に SD メモリーカードを入れます。
- 本機に電源が入っている場合は、必ず電源を切ってから SD メモリーカードを入れてください。(☞ 56 ページ)

1. 底面カバーをはずす

プラスドライバーを使って、カバー取付ネジをはずします。

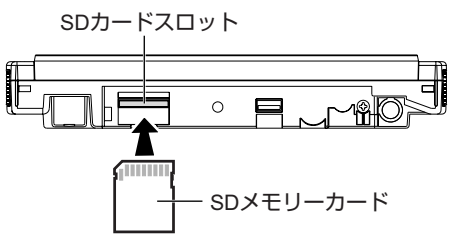


メモ：

- ネジは脱落防止構造になっているため、底面カバーから離れません。

2. SD メモリーカードを本機に入れる

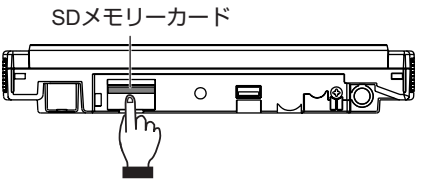
SD メモリーカードのラベル面を下にして SD カードスロットに入れます。



メモ：

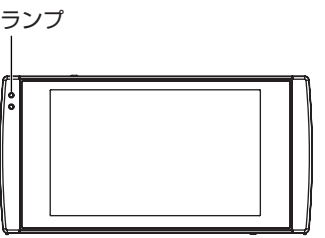
■ SD メモリーカードを取り出す場合

本機の電源が切れていることを確認し、SD メモリーカードを奥まで押し込みます。



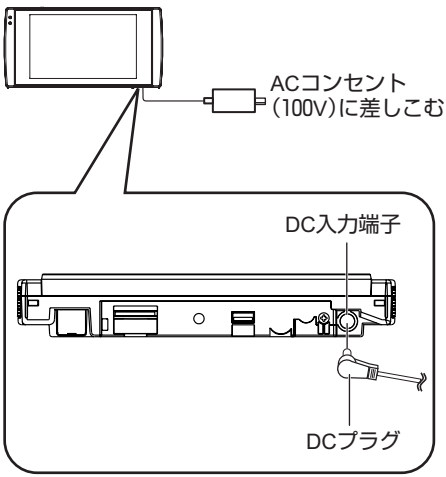
※ SD メモリーカードを取り出すときは、必ず本機の電源を切ってください。

※ 本機の電源が切れていると、電源ランプが消灯または赤色に点灯します。



Step3：本機と AC アダプターをつなぐ

- 本機と AC アダプターをつなぎ、電源を入れます。
- DC プラグを、DC 入力端子に差し込みます。このとき、下図のように、DC プラグを横向きにして差し込んでください。



Step4：SD メモリーカードをフォーマットする

新品のSDメモリーカードを使用するとき、また使用済みのSDメモリーカードを初期化するときは、必ずフォーマットを行なってください。

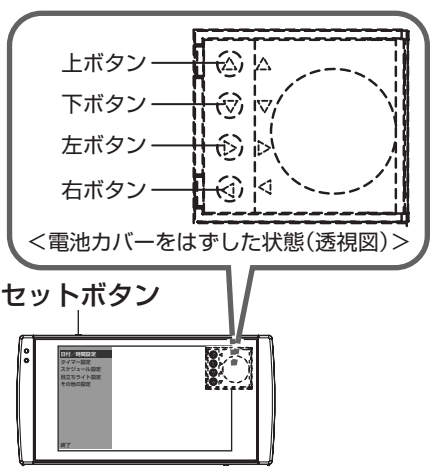
ご注意：

- 使用済みのSDメモリーカードを初期化すると、SD メモリーカードに保存されていた映像ファイルは消去されます。
- 本機でSDメモリーカードを初期化すると、パソコンでの使用ができなくなります。
- 本機は、SD メモリーカードのスイッチが "Lock" の状態であっても書き込みを行います。

■ フォーマットに使用するボタン

- **上、下、左、右ボタン**
- **はじめから再生ボタン**
  （以降セットボタンと呼びます。）

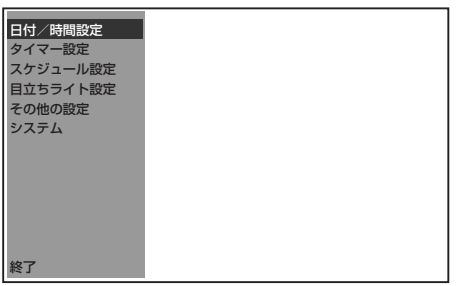
.



＜本機を前面から見た場合＞

1. メニュー画面を表示する

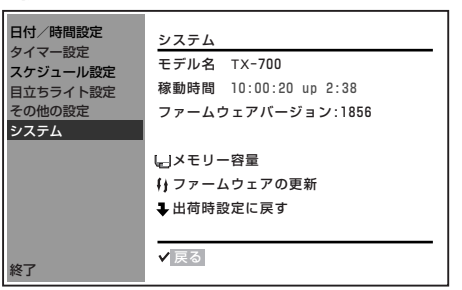
電源を入れ、左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。



＜メニュー画面＞

2. システム画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『システム』を選択し、セットボタンを押します。

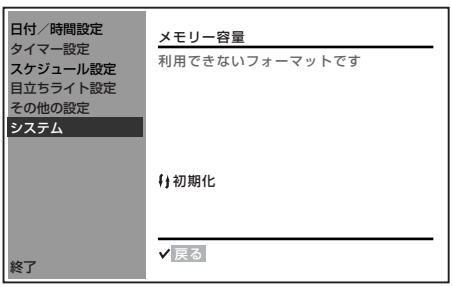


＜システム画面＞

SD メモリーカードをフォーマットする(つづき)

3. メモリー容量画面を表示する

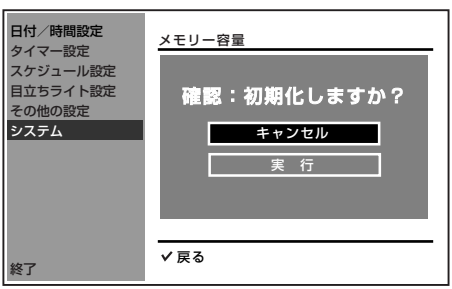
上ボタンまたは下ボタンで、『メモリー容量』を選択し、セットボタンを押します。



＜メモリー容量画面＞

4. フォーマット画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『初期化』を選択し、セットボタンを押します。

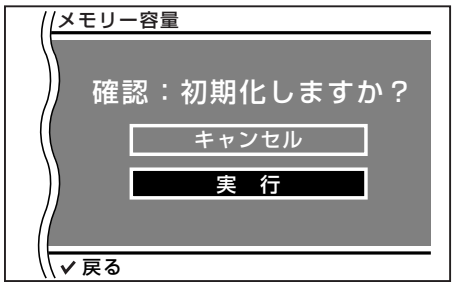


＜フォーマット画面＞

5. フォーマットする

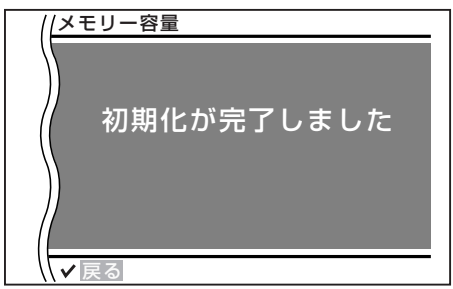
上ボタンまたは下ボタンで、『実行』を選択し、セットボタンを押します。

⇒ SD メモリーカードのフォーマットを開始します。



＜フォーマット開始画面＞

▼



＜フォーマット終了画面＞

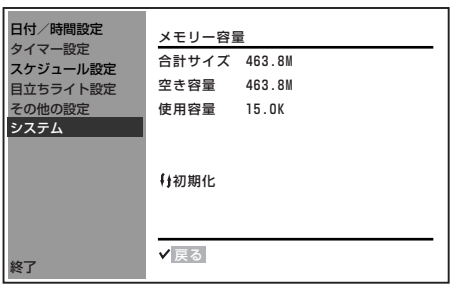
メモ：

- フォーマットをやめるときは、『キャンセル』を選択し、セットボタンを押してください。
- フォーマットにかかる時間は、SD メモリーカードの仕様(容量や速さ)によってかわります。

6. メニュー画面に戻る

フォーマットが終了したら、『戻る』を選択し、セットボタンを押します。

⇒メモリー容量画面が表示され、フォーマットした SD メモリーカードのメモリー容量が表示されます。



＜メモリー容量画面＞

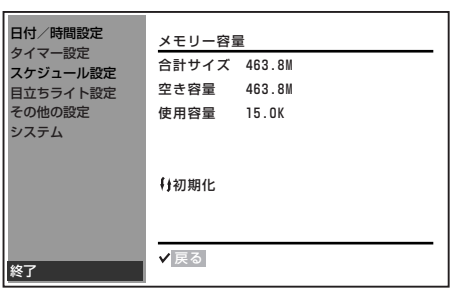
▼

⇒『戻る』を選択し、セットボタンを押します。⇒メニュー画面に戻ります。

7. メニュー画面を終了する

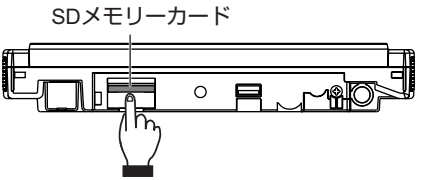
『終了』を選択し、セットボタンを押します。

⇒再生画面に戻ります。



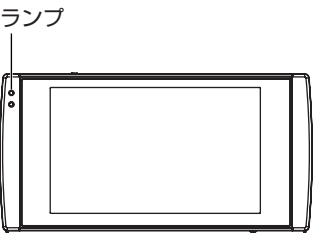
メモ：

- SD メモリーカードを取り出すときは・・・
  本機の電源が切れていることを確認し、SD メモリーカードを奥まで押し込みます。



※ SD メモリーカードを取り出すときは、必ず本機の電源を切ってください。

※ 本機の電源が切れていると、電源ランプが消灯または赤色に点灯します。



Step5:USB メモリーから映像ファイルを入れる

USB メモリーに保存されている映像ファイルを、SD メモリーカードに転送します。

＜ USB メモリーからの転送時間目安＞

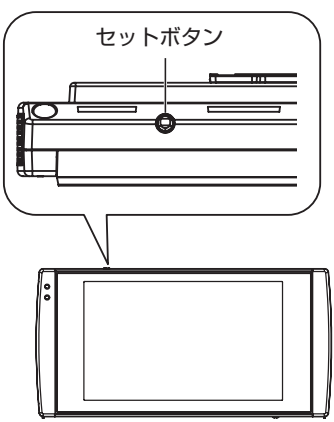
映像ファイル	転送時間
10MB	約 10 秒
50MB	約５０秒
100MB	約 1 分 40 秒
250MB	約 4 分 10 秒
500MB	約 8 分 20 秒

※ 転送時間は目安です。USB メモリー、SD メモリーカードの種類によって異なる場合があります。

ご注意：

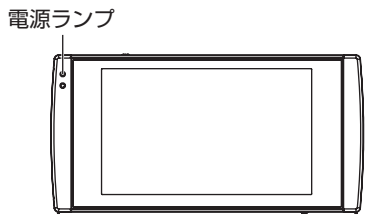
- USB メモリーの映像ファイルを転送すると、SD メモリーカードに保存されていた映像ファイルはすべて消去されます。
- 設定画面（☞ 30 ページ ）を表示中に USB メモリーを差し込むと、USB メモリーを認識しない場合があります。

■ ファイルの入れ換えに必要なボタン



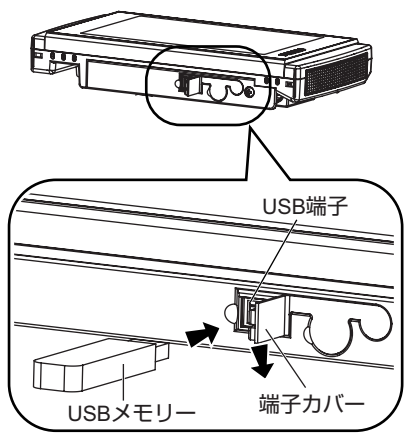
1. 電源を入れる

電源ランプが、緑色またはオレンジ色に点灯し、設定画面が表示されていないことを確認します。



2. USBメモリーをUSB端子に差しこむ

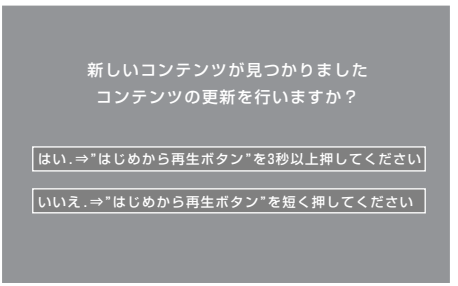
底面の端子カバーを開け、USB メモリーを USB 端子に差し込みます。



ご注意：

- 本機は 1 つのコンテンツにだけ対応しています。
  複数のコンテンツが入った USB メモリーを、本機に差し込まないでください。

⇒本機に下図のようなメッセージが表示されます。



＜ファイル更新画面＞

メモ：
- "SDカードのフォーマットが必要です"と表示された場合は、SD メモリーカードのフォーマットを行なってください。(☞ ２１ページ)

3. USB メモリーの映像ファイルを転送する

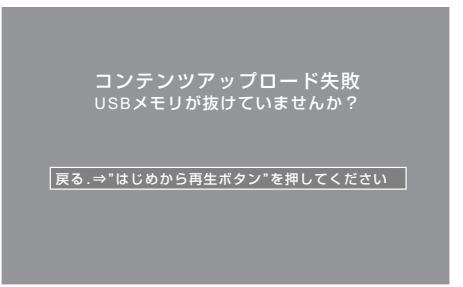
セットボタンを 3 秒以上押すと、SD メモリーカードに保存されている映像ファイルが消去され、USB メモリーの映像ファイルを転送します。

⇒"アップロード完了！"と表示されたら転送終了です。転送が終了すると、自動的にSDメモリーカード内の映像ファイルを再生します。

ご注意：
- 映像ファイル転送中に、USB メモリーを本機から取りはずさないでください。

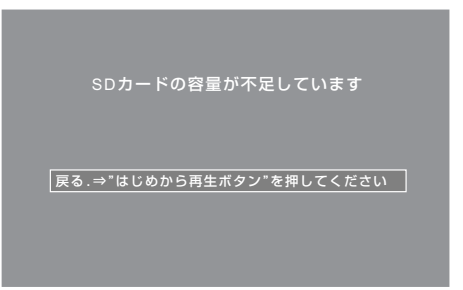
メモ：
- ファイルの転送をやめるときは、セットボタンを短く押してください。
- 映像再生中の状態でも、映像ファイルの入れ換えができます。
- 転送した映像ファイルがあらかじめ再生時間を設定している場合は、再生時間設定にしたがって再生されます。

メモ：
- 下図のようなメッセージが表示された場合は、ファイルの転送ができていません。



＜ファイル更新エラー画面１＞

⇒セットボタンを押して、手順 .2 からやり直してください。



＜ファイル更新エラー画面２＞

⇒セットボタンを押して、容量のある SD メモリーカードに取り換えてください。

4. USB メモリーを取りはずす

USB 端子から USB メモリーを取りはずし、端子カバーをかぶせます。

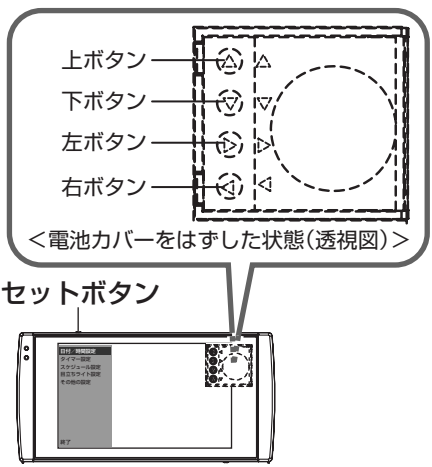
設定する前に･･･

設定時に使用するボタン

背面の操作ボタンカバー内にある４つのボタンを使用します。

ご注意：

- メニュー画面に入っているときは、絶対に電源を切らないでください。
  SD メモリーカードに保存されているファイルが壊れたり、設定した値が正しく保存されない場合があります。

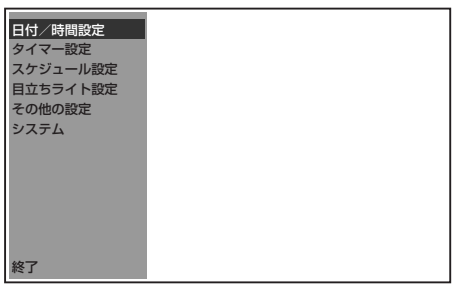


＜本機を前面から見た場合＞

選択項目の見かた

■ メニューの選択時

選択されている項目は白文字で表示されます。

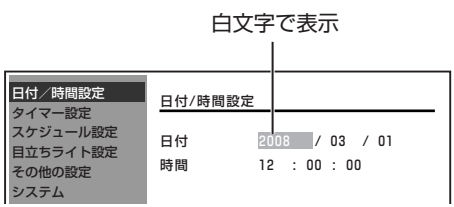


＜例：『日付 / 時間』を選択している状態＞

■ 各メニューの詳細設定時

【項目を選択するとき】

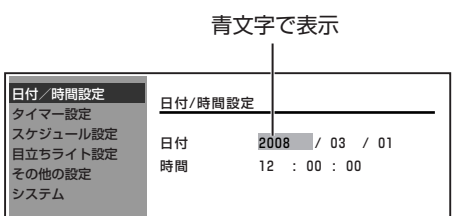
選択項目が**白文字**で表示されているときに、上ボタン、下ボタン、左ボタン、右ボタンを押します。



＜項目を選択できる状態＞

【設定値を変更するとき】

選択項目が**青文字**で表示されているときに、上ボタン、下ボタンを押します。



＜設定値を変更できる状態＞

各映像ファイルの設定する内容を確認する

各映像ファイルの再生日や再生時間などの設定する内容を確認します。
設定する内容を下表に記入してください。

■ タイマー設定

スケジュール設定（『モード』を”ループ再生”に設定）		タイマー設定（『タイマー設定』を”オン”に設定）		
映像ファイル名	再生選択	開始時間	終了時間	休日

■ スケジュール設定

スケジュール設定（『モード』を”スケジュール再生”に設定）		映像再生設定				
映像ファイル名	再生選択	音量	繰返し設定	再生日（曜日 / 日にち / 期間）	開始時間	終了時間

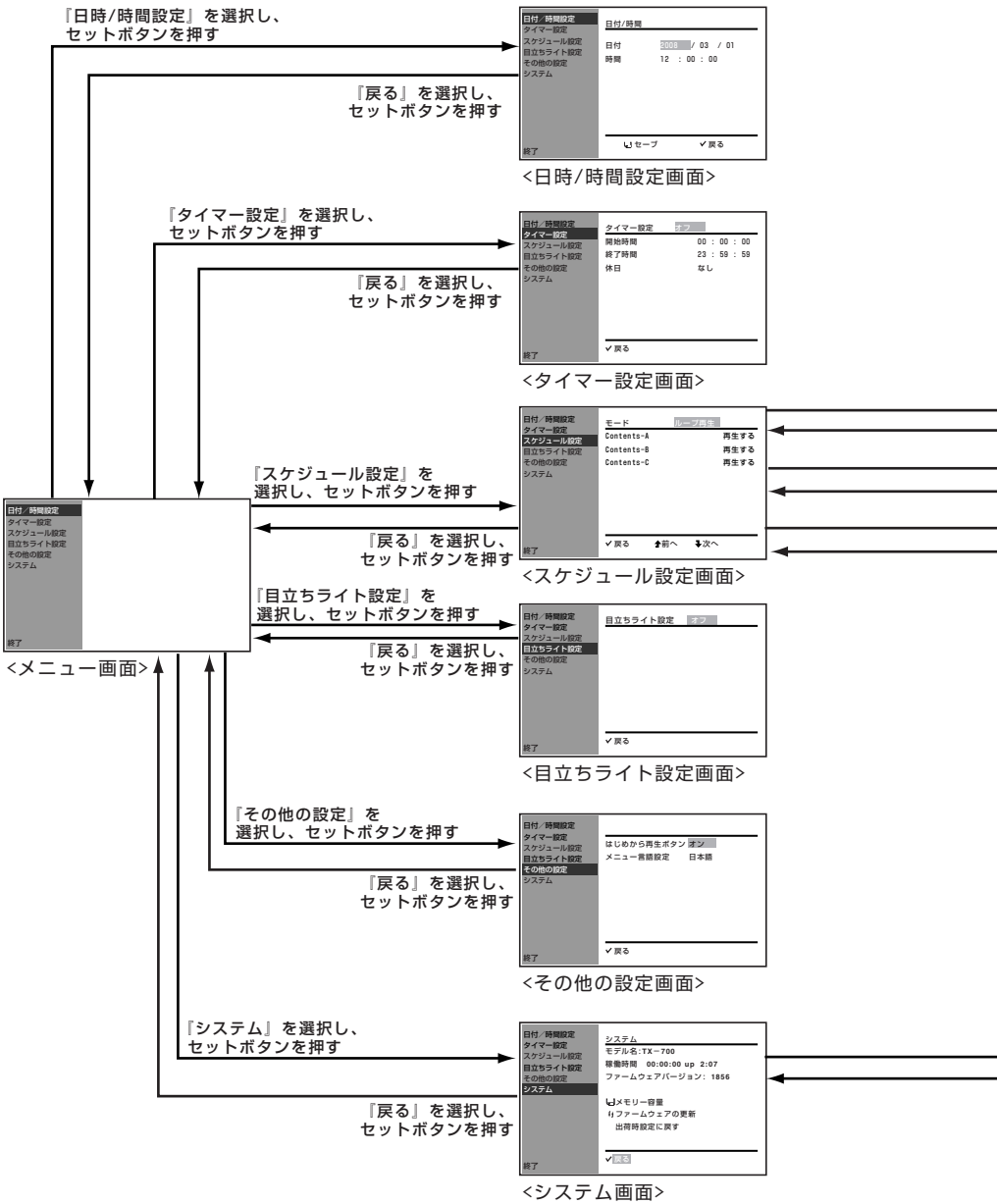
※ コピーしてお使いください。

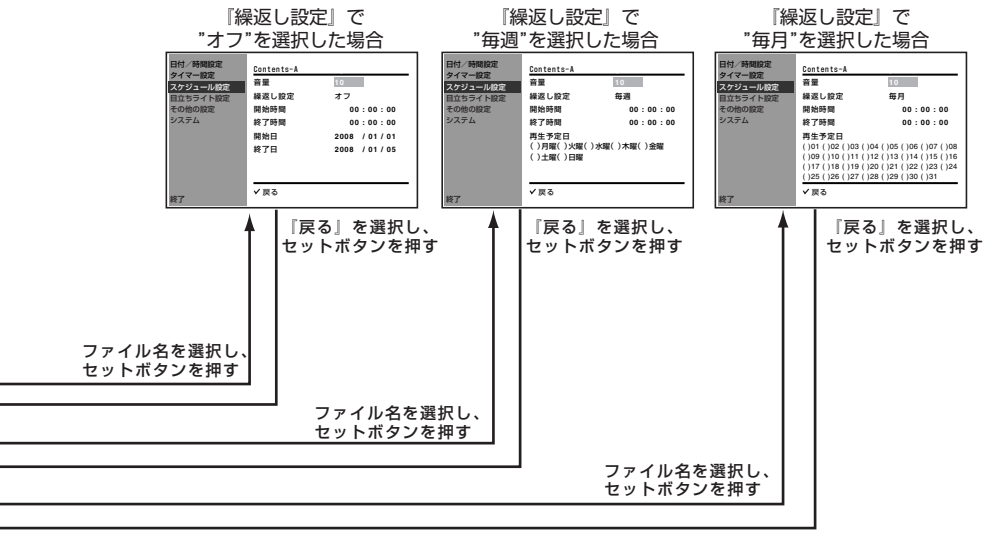
設定項目と内容

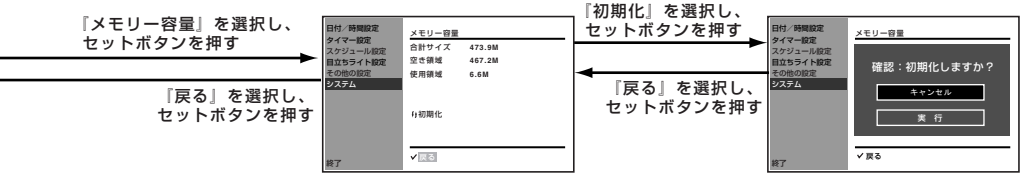
設定画面		設定内容		設定値（出荷時設定）
『日付 / 時間設定』 (☞ 32 ページ)	『日付』	現在の日にち(年 / 月 / 日)を設定します。		年:2007 ～ 2032 月:01 ～ 12 日:01 ～ 31
	『時間』	現在の時間(時:分:秒)を設定します。		時:00 ～ 23 分:00 ～ 59 秒:00 ～ 59
『タイマー設定』 (☞ 36 ページ)	『タイマー設定』	毎日同じ時間(タイマー設定で設定した時間)に再生するかを選択します。		オン、オフ (オフ)
	『開始時間』	『タイマー設定』を”オン”にした場合に、再生する時間を設定します。		時:00 ～ 23 分:00 ～ 59 秒:00 ～ 59 開始:(00:00:00) 終了:(23:59:59)
	『終了時間』	『タイマー設定』を”オン”にした場合に、再生を終了する時間を設定します。		
	『休日』	『タイマー設定』を”オン”にした場合の時間に再生しない曜日を設定します。		月 曜、火 曜、水 曜、木曜、金曜、土曜、日曜、なし (なし)
『スケジュール設定』 (☞ 36 ページ)	『モード』	”ループ再生”	「タイマー設定』で設定した時間に、再生可能(再生選択が『再生する』)な映像を繰り返し再生します。	ル ー プ 再 生、ス ケ ジュール再生
		”スケジュール再生”	再生可能(再生選択が『再生する』)な映像を、映像ファイルごとに設定した日時に映像を再生します。	
	再生選択	”再生する”	映像を再生します。	再生する、再生しない
		”再生しない”	映像を再生しません。	
	各映像ファイルの再生時間設定 (映像ファイル名を選択します。)	『音量』	再生するときの音量を設定します。	消音、01 ～ 10
		『繰り返し設定』	”毎週”: 再生オン(『再生予定日』で”＊”印)の曜日に、繰り返し再生します。 ”毎月”: 再生オン(『再生予定日』で”＊”印)の日にちに、繰り返し再生します。 ”オフ”: 再生する期間(開始日と終了日)を設定します。	毎週、毎月、オフ

設定画面		設定内容		設定値（出荷時設定）
『スケジュール設定』	各映像ファイルの再生時間設定 （映像ファイル名を選択します。）	『開始時間』	再生する時間を設定します。	時：00 ～ 23 分：00 ～ 59 秒：00 ～ 59
		『終了時間』	再生を終了する時間を設定します。	
		『開始日』 『終了日』	『繰返し設定』を”オフ”にしたときに設定します。	年：2007 ～ 2032 月：01 ～ 12 日：01 ～ 31
		『再生予定日』	『繰返し設定』を、”毎週”に設定した場合： 繰返し設定オン(”＊”印)にした曜日に、繰り返して再生します。	月曜～日曜
			『繰返し設定』を、”毎月”に設定した場合： 繰返し設定オン(”＊”印)にした日にちに、繰り返して再生します。	01 ～ 31
『目立ちライト設定』	『目立ちライト』	”オン”	映像再生時に、目立ちライトを点灯します。	オン、オフ、点滅 （オフ）
		”オフ”	映像再生時に、目立ちライトを消灯します。	
		”点滅”	映像再生時に、目立ちライトを点滅します。	
『その他の設定』	『はじめから再生ボタン』	はじめから再生ボタン機能を使用するかを設定します。		オン、オフ （オン）
	『メニュー言語設定』	”日本語”	設定画面を日本語で表示します。	日本語、English （日本語）
		”English”	設定画面を英語で表示します。	
『システム』	本機のシステム確認	モデル名、稼働時間、ファームウェアバージョンを確認できます。 ※設定はできません。		－
	『メモリー容量』	SDメモリーカードの合計サイズ、空き領域、使用領域の確認や、SD カードの初期化を行います。		－
	『ファームウェアの更新』	※サービスマン以外使用できません。		－
	『出荷時設定に戻す』	設定内容を、工場出荷時に戻します。		－
『終了』		設定を終了します。		－

設定画面構成


『日時/時間設定』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<日時/時間設定画面>
『タイマー設定』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<タイマー設定画面>
『スケジュール設定』を
選択し、セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<スケジュール設定画面>
『目立ちライト設定』を
選択し、セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<目立ちライト設定画面>
『その他の設定』を
選択し、セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<その他の設定画面>
『システム』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
<システム画面>
<メニュー画面>
日付/時間設定
タイマー設定
スケジュール設定
目立ちライト設定
その他の設定
システム
終了

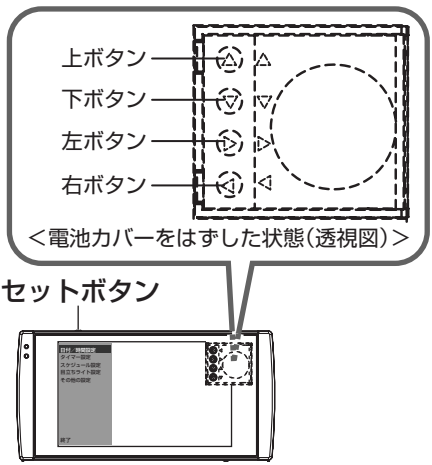

『繰返し設定』で
”オフ”を選択した場合
『繰返し設定』で
”毎週”を選択した場合
『繰返し設定』で
”毎月”を選択した場合
日付／時間設定
タイマー設定
スケジュール設定
自立ちライト設定
その他の設定
システム
終了
Contents-A
音量
繰返し設定 オフ
開始時間 00：00：00
終了時間 00：00：00
開始日 2008 /01/01
終了日 2008 /01/05
繰返し設定 毎週
再生予定日
( )月曜( )火曜( )水曜( )木曜( )金曜
( )土曜( )日曜
繰返し設定 毎月
( )01 ( )02 ( )03 ( )04 ( )05 ( )06 ( )07 ( )08
( )09 ( )10 ( )11 ( )12 ( )13 ( )14 ( )15 ( )16
( )17 ( )18 ( )19 ( )20 ( )21 ( )22 ( )23 ( )24
( )25 ( )26 ( )27 ( )28 ( )29 ( )30 ( )31
✓戻る
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
ファイル名を選択し、
セットボタンを押す
ファイル名を選択し、
セットボタンを押す
ファイル名を選択し、
セットボタンを押す


『メモリー容量』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
『初期化』を選択し、
セットボタンを押す
『戻る』を選択し、
セットボタンを押す
日付／時間設定
タイマー設定
スケジュール設定
自立ちライト設定
その他の設定
システム
終了
メモリー容量
合計サイズ 473.9M
空き領域 467.2M
使用領域 6.6M
初期化
✓戻る
確認：初期化しますか？
キャンセル
実 行

Step6: 現在の日時を設定する

- 現在の日にち､時間を設定します。
- 再生時間を設定する前に必ず設定してください。

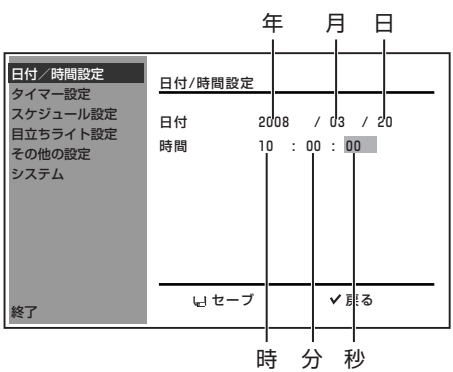
■ 設定時に使用するボタン



＜本機を前面から見た場合＞

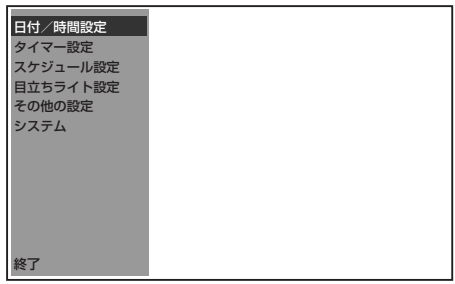
【日付 / 時間設定画面】

設定項目	設定例
日付(年 / 月 / 日)	2008/3/20
時間(時:分:秒)	10:00:00



1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

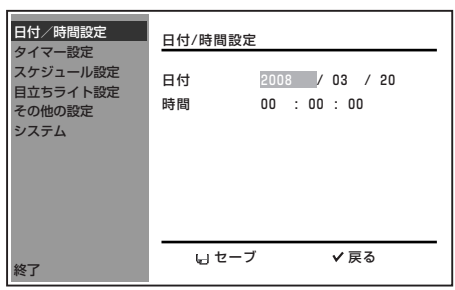


＜メニュー画面＞

2. 日付 / 時間設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで､『日付/時間』を選択し､セットボタンを押します。

⇒日付/時間設定画面が表示されると､年の項目が白文字で表示されます。

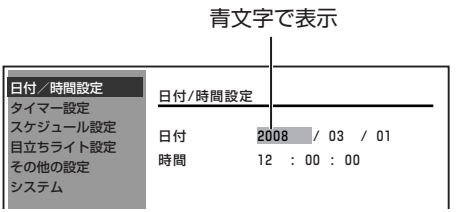


＜日付 / 時間設定画面＞

3. 日付(年 / 月 / 日)を設定する

左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(年/月/日)を選択し、セットボタンを押します。

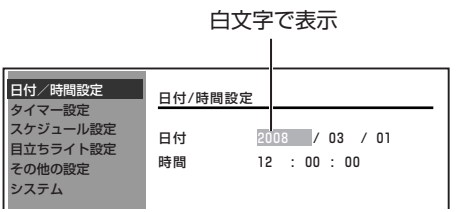
⇒設定する項目(年 / 月 / 日)が青文字で表示されます。



▼

設定値を、上ボタンまたは下ボタンで変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



▼

日付の設定が終了したら、下ボタンを押して時間(時:分:秒)の設定に進みます。

⇒時間(時)の項目が白文字で表示されます。

4. 時間(時:分:秒)を設定する

左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定する項目(時:分:秒)が青文字で表示されます。

▼

設定値を、上ボタンまたは下ボタンで変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

▼

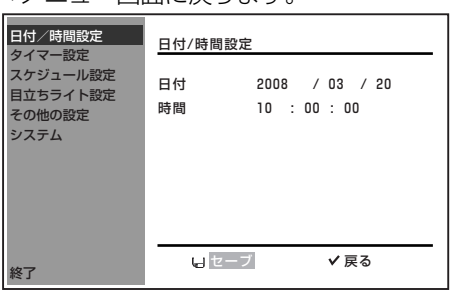
日付(時:分:秒)の設定が終了したら、下ボタンを押して設定の保存に進みます。

⇒『セーブ』が白文字で表示されます。

5. 設定を保存する

『セーブ』が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒メニュー画面に戻ります。



メモ：

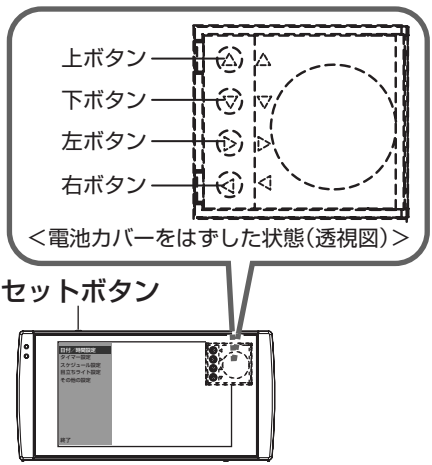
- 保存をしないで、メニュー画面に戻るときは、『戻る』を選択してセットボタンを押します。

Step7：再生する映像を選ぶ（再生映像設定）

SD メモリーカードに保存されている映像ごとに再生するか、再生しないかを選ぶことができます。

メモ：
- 初期設定時は、再生選択はすべて”再生する”に設定されています。

■ 設定時に使用するボタン



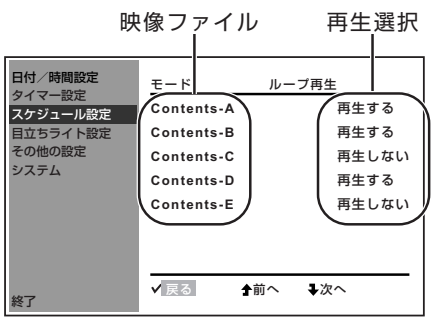
＜本機を前面から見た場合＞

■ 設定例

Contents-A、Contents-B、Contents-D の映像を再生する場合

【スケジュール設定画面】

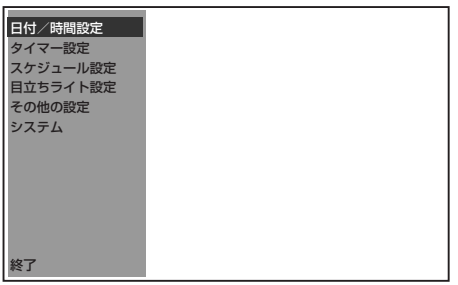
設定項目	設定例
映像ファイル（SDメモリーカードに入っている映像ファイル名が表示されます）	Contents-A Contents-B Contents-C Contents-D Contents-E
再生選択 ”再生する”：再生する映像 ”再生しない”：再生しない映像	Contents-A：再生する Contents-B：再生する Contents-C：再生しない Contents-D：再生する Contents-E：再生しない



＜スケジュール設定画面＞

1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

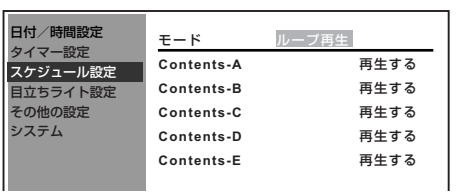


＜メニュー画面＞

2. スケジュール設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『スケジュール設定』を選択し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面が表示され、『モード』の設定値が白文で表示されます。

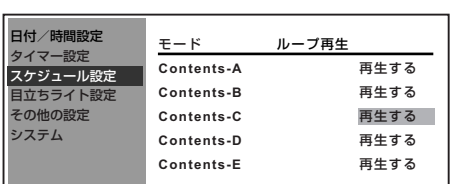


＜スケジュール設定画面＞

3. 映像ファイルごとに再生するか、再生しないかを選択する

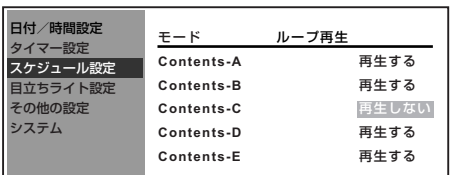
上ボタン、下ボタン、右ボタンを押し、映像ファイル(Contents-C)の再生選択を選択し、セットボタンを押します。

⇒映像ファイル(Contents-C)の再生選択が青文字で表示されます。



上ボタンまたは下ボタンで、”再生しない”を選択し、セットボタンを押します。

⇒再生選択が白文字で表示されます。



▼

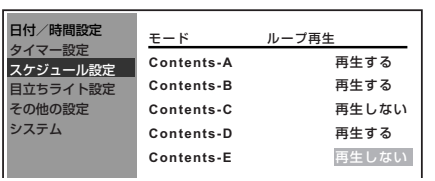
下ボタンを押して映像ファイル(Contents-E)の再生選択を選択します。

⇒映像ファイル(Contents-E)の再生選択が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、”再生しない”を選択し、セットボタンを押します。

⇒再生選択が白文字で表示されます。



メモ：

- 映像ファイルが ９ 個以上ある場合は、『前へ』または『次へ』を選択し、セットボタンを押すと、表示されていない映像ファイルが表示されます。

4. メニュー画面に戻る

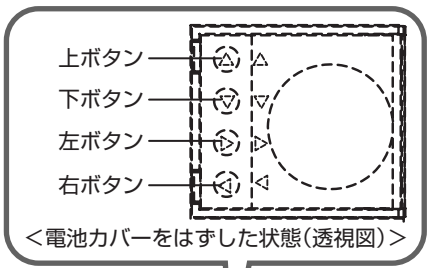
設定が終了したら、下ボタンで『戻る』を選択し、セットボタンを押します。

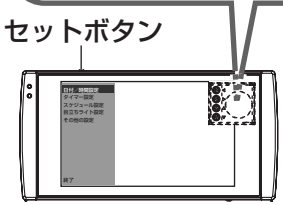
Step8: 再生時間を設定する

毎日同じ時間に映像を繰り返して再生する(タイマー設定)

再生映像設定 (☞ 34 ページ) で、再生選択を"再生する"にした映像を繰り返し再生します。

■ 設定時に使用するボタン





＜本機を前面から見た場合＞

■ 設定例

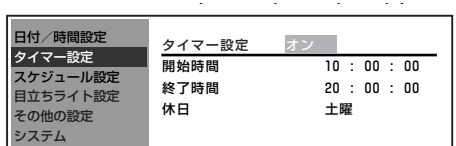
Contents-A、Contents-B、Contents-D の映像を順番に、毎日(月曜～金曜と日曜)朝 10 時～夜 8 時まで繰返し再生する場合

【タイマー設定画面】

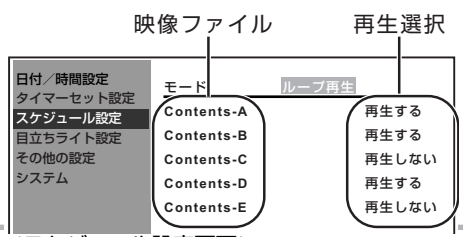
設定項目	設定例
『タイマー設定』	"オン"(必須)
『開始時間』	朝 10:00
『終了時間』	夜 8:00
『休日』	土曜日

【スケジュール設定画面】

設定項目	設定例
『モード』	"ループ再生"(必須)
映像ファイル (SD メモリーカードに保存されている映像ファイル)	Contents-A Contents-B Contents-C Contents-D Contents-E
再生選択 "再生する": 再生する映像 "再生しない": 再生しない映像	Contents-A:再生する Contents-B:再生する Contents-C:再生しない Contents-D:再生する Contents-E:再生しない



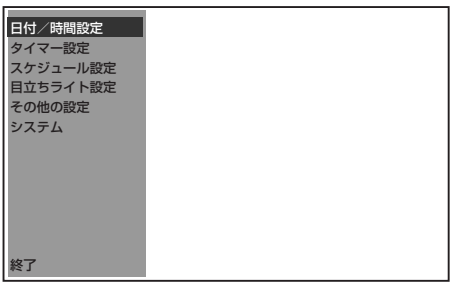
＜タイマー設定画面＞



＜スケジュール設定画面＞

1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

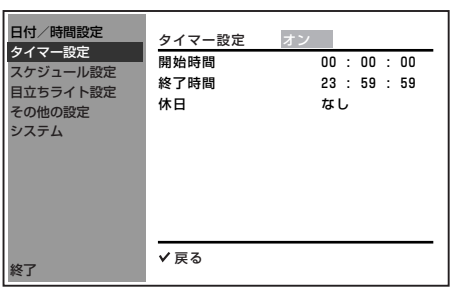


＜メニュー画面＞

2. タイマー設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『タイマー設定』を選択し、セットボタンを押します。

⇒タイマー設定画面が表示され、『タイマー設定』の設定値が白文で表示されます。

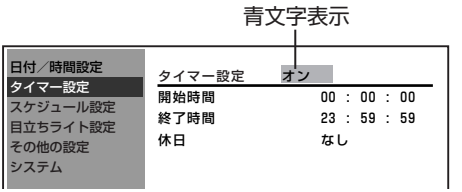


＜タイマー設定画面＞

3. 『タイマー設定』を”オン”に設定する

『タイマー設定』の設定値が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。

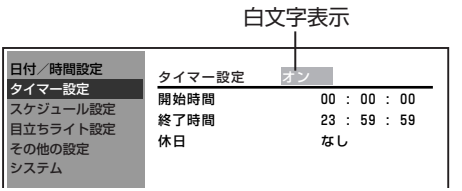
⇒青文字で表示されます。



▼

上ボタンまたは下ボタンで、”オン”を選択し、セットボタンを押します。

⇒白文字で表示されます。



次のページへつづく...

再生時間を設定する(つづき)

毎日同じ時間に映像を繰り返して再生する(タイマー設定)(つづき)

4. 開始時間(時:分:秒)を設定する

『タイマー設定』の設定値が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒開始時間(時)が、白文字表示になります。

▼

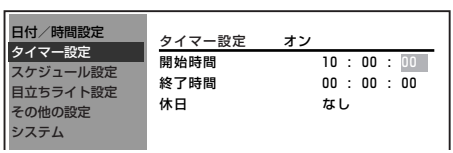
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目が青文字表示になります。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒白文字で表示されます。



5. 終了時間(時:分:秒)を設定する

開始時間(時:分:秒)が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒終了時間(時)が白文字で表示されます。

▼

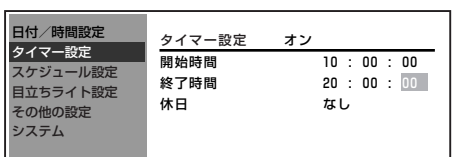
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒白文字で表示されます。

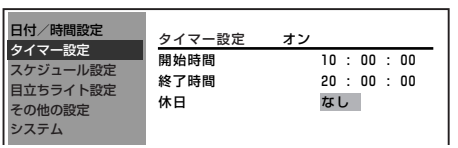


6.『休日』を”土曜”に設定する

終了時間(時:分:秒)が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。
⇒『休日』の設定値が白文字で表示されます。

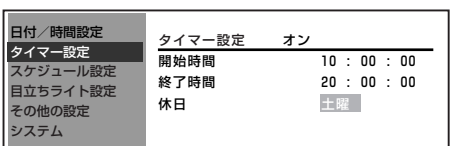
▼

セットボタンを押します。
⇒設定値が青文字で表示されます。



▼

上ボタンまたは下ボタンで、”土曜”を選択し、セットボタンを押します。
⇒設定値が白文字表示になります。



▼

『戻る』を選択し、セットボタンを押します。
⇒メニュー画面に戻ります。

7.『モード』を”ループ再生”に設定する

『スケジュール設定』を選択し、セットボタンを押します。
⇒スケジュール設定画面が表示されます。

▼

『モード』が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。
⇒青文字表示になります。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、”ループ再生”を選択し、セットボタンを押します。
⇒白文字表示になります。

▼

『戻る』を選択し、セットボタンを押します。
⇒設定を終了し、メニュー画面に戻ります。

再生時間を設定する(つづき)

毎週決まった曜日に再生する

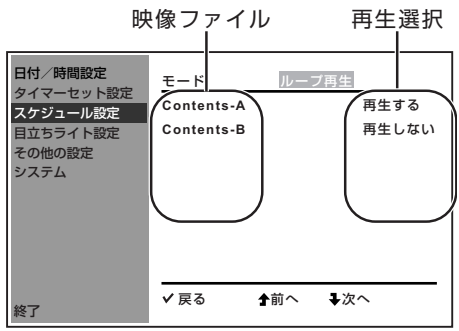
映像ファイルごとに、再生する曜日、時間を設定します

■ 設定例

毎週月曜､金曜の午前 11 時半～午後 1 時の間､Contents-A の映像を繰返し再生する場合

【スケジュール設定画面】

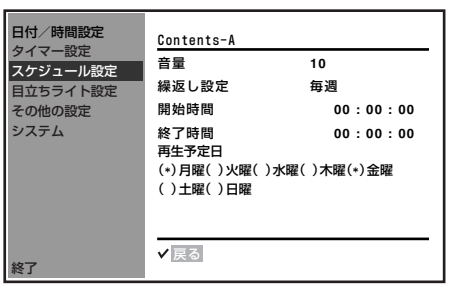
設定項目	設定例
『モード』	"スケジュール再生"(必須)
映像ファイル (SD メモリーカードに保存されている映像ファイルが表示されます。)	Contents-A Contents-B
再生選択 "再生する": 再生する映像 "再生しない": 再生しない映像	Contents-A:再生する Contents-B:再生しない



＜スケジュール設定画面＞

【映像再生設定画面】

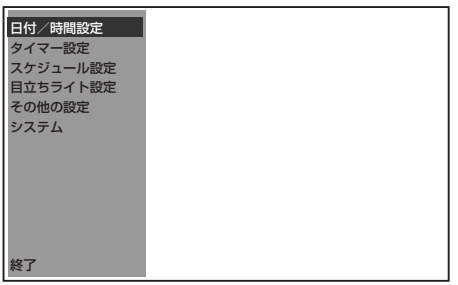
Contents-A	『音量』	"10"
	『繰返し設定』	"毎週" (必須)
	『開始時間』	11:30:00
	『終了時間』	13:00:00
	『再生予定日』	月曜､金曜



＜映像再生設定画面＞

1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

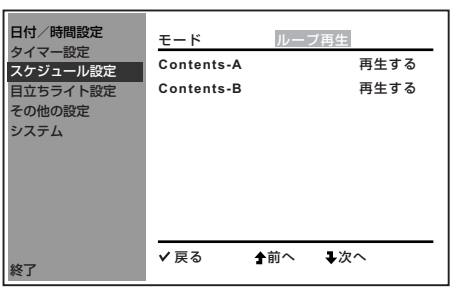


＜メニュー画面＞

2. スケジュール設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『スケジュール設定』を選択し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面が表示され、『モード』の設定値が白文字で表示されます。



＜スケジュール設定画面＞

3. 『モード』を”スケジュール再生”に設定する

『モード』の設定値が白文字表示されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

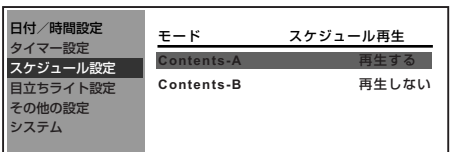
上ボタンまたは下ボタンで”スケジュール再生”を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

4. 映像再生設定画面を表示する

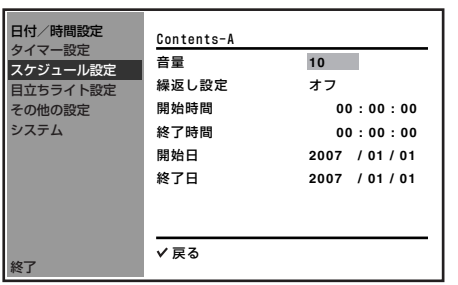
下ボタンで、再生設定をする映像ファイル(Contents-A)を選択し、セットボタンを押します。

⇒映像再生設定画面が表示され、『音量』の設定値が白文字で表示されています。



＜スケジュール設定画面＞

▼



＜映像再生設定画面＞

5. 『音量』を設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで音量(設定例では”10”)を設定し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

次のページへつづく...

再生時間を設定する(つづき)

毎週決まった曜日再生する(つづき)

6.『繰返し設定』を"毎週"に設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『繰返し設定』が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

セットボタンを押し、設定値の変更ができる状態にします。

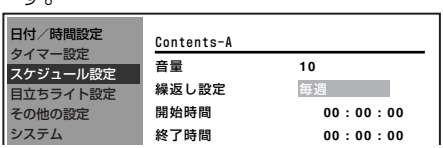
⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで"毎週"を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字表示になります。

⇒画面に、『再生予定日』項目が表示されます。



7.『開始時間』(時:分:秒)を設定する

『繰返し設定』の設定値が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒開始時間(時)が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

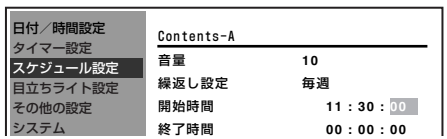
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



8.終了時間(時:分:秒)を設定する

開始時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒終了時間(時)が白文字で表示されます。

▼

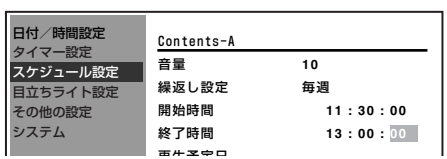
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



9.『再生予定日』を設定する

終了時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『再生予定日』の”( ) 月曜”が白文字で表示されます。

▼

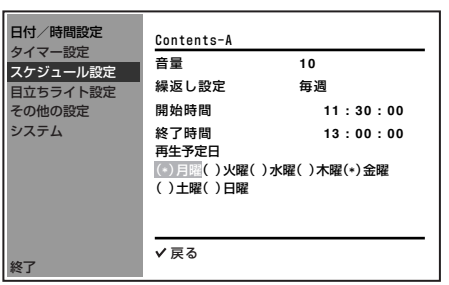
右ボタンまたは左ボタンで設定する曜日を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択した曜日が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで”＊”印を表示または非表示にし、セットボタンを押します。(設定例の場合、月曜と金曜が”＊”表示されれます。)

⇒選択した曜日が白文字で表示されます。



*10.*映像再生設定を終了する

下ボタンを押し、『戻る』を選択します。

⇒『戻る』が選択され白文字表示になります。

▼

『戻る』が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面に戻ります。

⇒『戻る』が選択され白文字表示になります。

メモ：

- 各映像ファイルの映像再生設定が終了したら、スケジュール画面で『戻る』を選択し、メニュー画面に戻ります。

再生時間を設定する(つづき)

毎月決まった日にち再生する

毎月決まった日にちの同じ時間に映像を繰り返して再生します。

■ 設定例

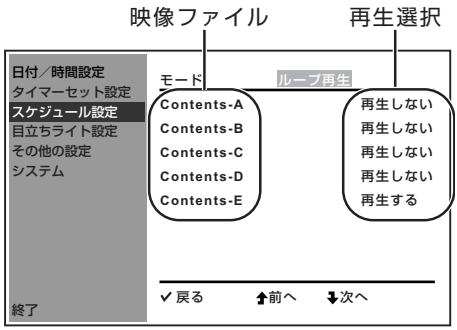
毎月５日､25 日の午前１０時～午後５時半の間､Contents-E の映像を繰返し再生する場合

【スケジュール設定画面】

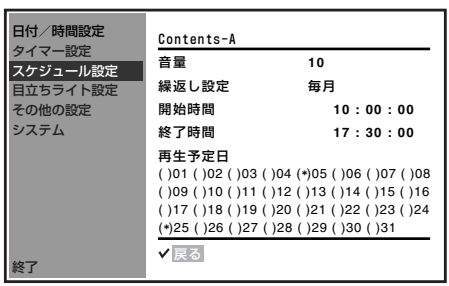
設定項目	設定例
『モード』	"スケジュール再生"(必須)
映像ファイル (SD メモリーカードに保存されている映像ファイルが表示されます。)	Contents-A Contents-B Contents-C Contents-D Contents-E
再生選択 "再生する": 再生する映像 "再生しない": 再生しない映像	Contents-A:再生しない Contents-B:再生しない Contents-C:再生しない Contents-D:再生しない Contents-E:再生する

【映像再生設定画面】

Contents-A	『音量』	"10"
	『繰返し設定』	"毎月" (必須)
	『開始時間』	10:00:00
	『終了時間』	17:30:00
	『再生予定日』	"05"、 "25"



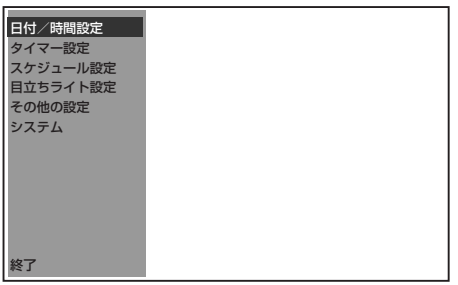
＜スケジュール設定画面＞



＜映像再生設定画面＞

1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

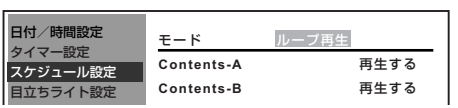


＜メニュー画面＞

2. スケジュール設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『スケジュール設定』を選択し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面が表示され、『モード』の設定値が白文字で表示されます。



＜スケジュール設定画面＞

3. 『モード』を”スケジュール再生”に設定する

『モード』の設定値が白文字表示されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

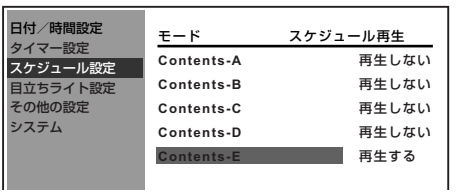
上ボタンまたは下ボタンで”スケジュール再生”を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

4. 映像再生設定画面を表示する

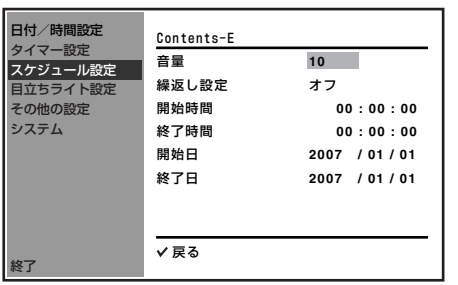
下ボタンで、再生設定をする映像ファイル(Contents-E)を選択し、セットボタンを押します。

⇒映像再生設定画面が表示され、『音量』の設定値が白文字で表示されています。



＜スケジュール設定画面＞

▼



＜映像再生設定画面＞

5. 『音量』を設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで音量(設定例では”10”)を設定し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

次のページへつづく...

再生時間を設定する(つづき)

毎月決まった日にちに再生する(つづき)

6.『繰返し設定』を"毎月"に設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『繰返し設定』が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

セットボタンを押し、設定値の変更ができる状態にします。

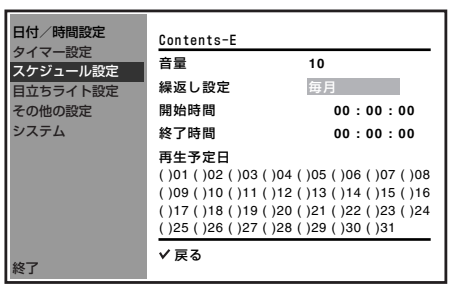
⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで"毎月"を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

⇒画面に、『再生予定日』項目が表示されます。



7.『開始時間』(時:分:秒)を設定する

『繰返し設定』の設定値が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒開始時間(時)が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

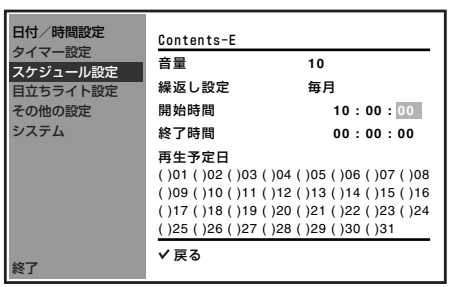
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



8. 終了時間(時:分:秒)を設定する

開始時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒終了時間(時)が白文字で表示されます。

▼

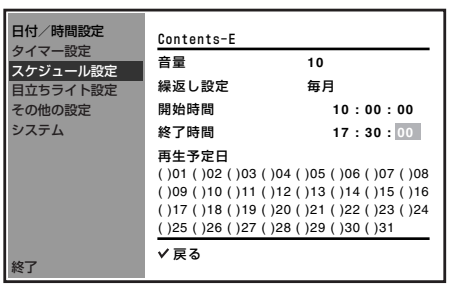
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



9.『再生予定日』を設定する

終了時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『再生予定日』の"( )01"が白文字表示になります。

▼

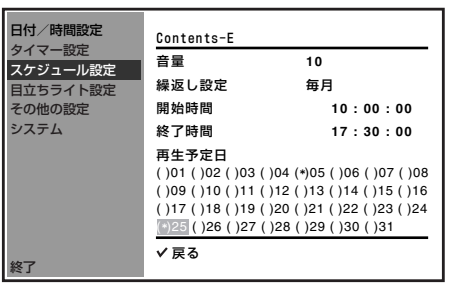
右ボタンまたは左ボタンで設定する日にちを選択し、セットボタンを押します。

⇒選択した日にちが青文字表示になります。

▼

上ボタンまたは下ボタンで"＊"印を表示または非表示にし、セットボタンを押します。(設定例の場合、5 日と 25 日が"＊"表示されます。)

⇒選択した曜日が白文字表示になります。



*10.*映像再生設定を終了する

下ボタンを押し、『戻る』を選択します。

⇒『戻る』が選択され白文字で表示されます。

▼

『戻る』が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面に戻ります。

⇒『戻る』が選択され白文字で表示されます。

メモ：

- 各映像ファイルの映像再生設定が終了したら、スケジュール設定画面で『戻る』を選択し、メニュー画面に戻ります。

再生時間を設定する（つづき）

決まった期間に再生する

決まった期間の同じ時間に映像を繰り返して再生します。

■ 設定例

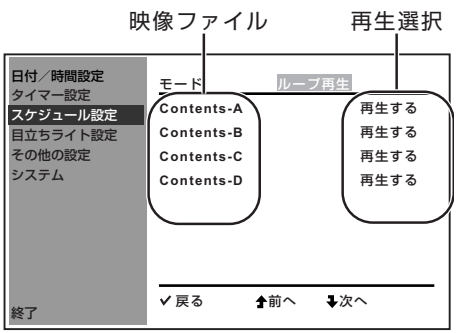
2008年3月1日～2008年3月14日の午前10時～午後8時半の間、Contents-A、Contents-B、Contents-C、Contents-Dの映像を順番に繰返し再生する場合

【スケジュール設定画面】

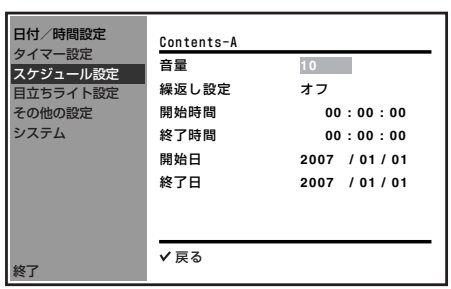
設定項目	設定例
『モード』	"スケジュール再生"（必須）
映像ファイル（SD メモリーカードに保存されている映像ファイルが表示されます。）	Contents-A Contents-B Contents-C Contents-D
再生選択 "再生する"：再生する映像 "再生しない"：再生しない映像	Contents-A：再生する Contents-B：再生する Contents-C：再生する Contents-D：再生する

【映像再生設定画面】

Contents-A Contents-B	『音量』	"10"
	『繰返し設定』	"オフ"（必須）
	『開始時間』	10:00:00
	『終了時間』	20:30:00
	『開始日』	2008/3/1
	『終了日』	2008/3/14
Contents-C Contents-D	『音量』	"10"
	『繰返し設定』	"オフ"（必須）
	『開始時間』	10:00:00
	『終了時間』	20:30:00
	『開始日』	2008/3/15
	『終了日』	2008/3/31



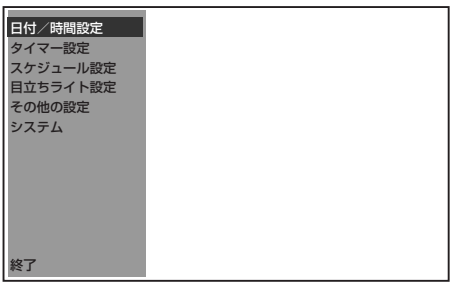
＜スケジュール設定画面＞



＜例：Contents-Aの映像再生設定画面＞

1. メニュー画面を表示する

左ボタンと右ボタンを同時に２秒以上押します。

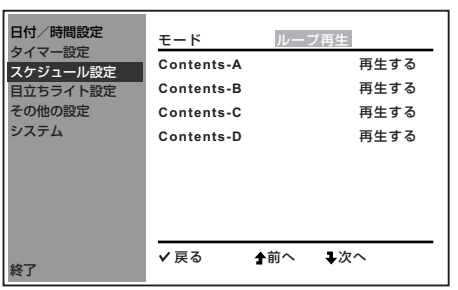


＜メニュー画面＞

2. スケジュール設定画面を表示する

上ボタンまたは下ボタンで、『スケジュール設定』を選択し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面が表示され、『モード』の設定値が白文字で表示されます。



＜スケジュール設定画面＞

3. 『モード』を”スケジュール再生”に設定する

『モード』の設定値が白文字表示されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

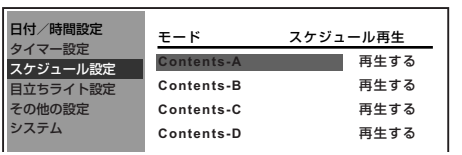
上ボタンまたは下ボタンで”Yes”を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

4. ”Contents-A”の映像再生設定画面を表示する

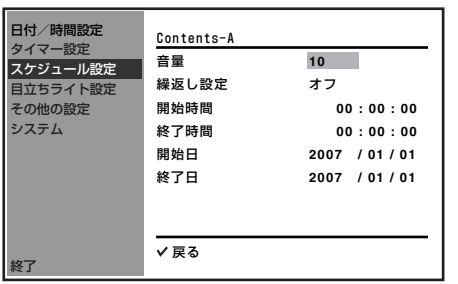
下ボタンで、再生設定をする映像ファイル(Contents-A)を選択し、セットボタンを押します。

⇒映像再生設定画面が表示され、『音量』の設定値が白文字で表示されています。



＜スケジュール設定画面＞

▼



＜映像再生設定画面＞

5. 『音量』を設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで音量(設定例では”10”)を設定し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。

次のページへつづく...

再生時間を設定する(つづき)

決まった期間に再生する(つづき)

6. 『繰返し設定』を”オフ”に設定する

『音量』の設定値が白文字表示になっていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『繰返し設定』が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

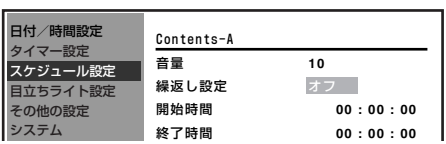
セットボタンを押し、設定値の変更ができる状態にします。

⇒設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで”オフ”を選択し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



7. 『開始時間』(時:分:秒)を設定する

『繰返し設定』の設定値が白文字で表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒開始時間(時)が選択され、設定値が白文字で表示されます。

▼

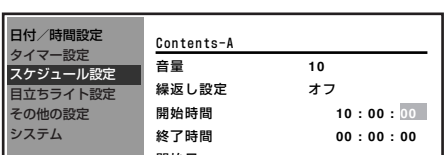
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字表示になります。



8. 終了時間(時:分:秒)を設定する

開始時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒終了時間(時)が白文字で表示されます。

▼

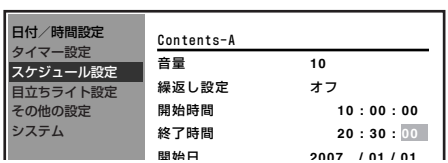
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(時:分:秒)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字表示になります。



9.『開始日』(年 / 月 / 日)を設定する

終了時間(時:分:秒)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『開始日』(年)が白文字で表示されます。

▼

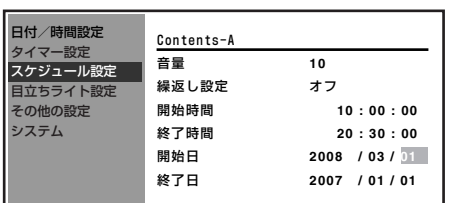
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(年/月/日)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



10.『終了日』(年 / 月 / 日)を設定する

開始日(年 / 月 / 日)が白文字表示されていることを確認し、下ボタンを押します。

⇒『終了日』(年)が白文字で表示されます。

▼

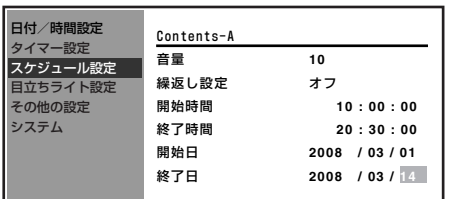
左ボタンまたは右ボタンで、設定する項目(年/月/日)を選択し、セットボタンを押します。

⇒選択項目の設定値が青文字で表示されます。

▼

上ボタンまたは下ボタンで、設定値を変更し、セットボタンを押します。

⇒設定値が白文字で表示されます。



11."Contents-A"の映像再生設定を終了する

下ボタンを押し、『戻る』を選択します。

⇒『戻る』が選択され白文字で表示されます。

▼

『戻る』が選択されていることを確認し、セットボタンを押します。

⇒スケジュール設定画面に戻ります。

⇒『戻る』が白文字で表示されます。

12."Contents-B"、"Contents-C"、"Contents-D"の映像再生設定をする

手順 4. ～手順 11. を繰り返します。

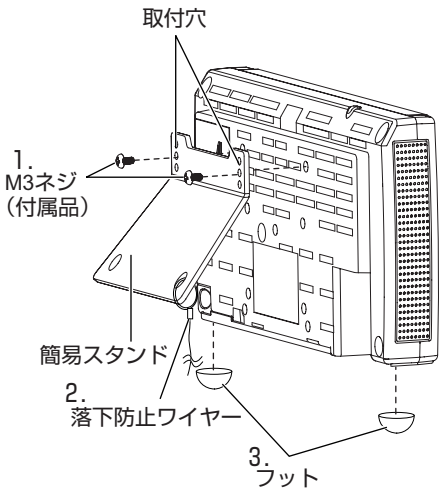
メモ：

- 各映像ファイルの映像再生設定が終了したら、スケジュール設定画面で『戻る』を選択し、メニュー画面に戻ります。

Step9：設置場所に取り付ける

本機を設置する

付属品の簡易スタンドとフットを使って、本機を平らな場所に設置します。



1. 簡易スタンドを取り付ける

左図のように、M3ネジ2本（付属品）を使って本機の取付穴に取り付けます。

メモ：

- スタンドの取付穴は３段階あります。設置場所に応じて、取付ける穴の位置を調節してください。

2. 落下防止ワイヤーを簡易スタンドに取り付ける

左図のように、簡易スタンドの 2 つあるうちのどちらかの落下防止ワイヤー取付穴に落下防止ワイヤーを取り付けます。

ご注意：

- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質なども十分に注意してください。

3. フットを取り付ける

左図のように、フット（２つ）を本機の底面に取り付けます。

4. 平らな場所に本機を設置する

5. 落下防止ワイヤーを任意の場所に取り付ける

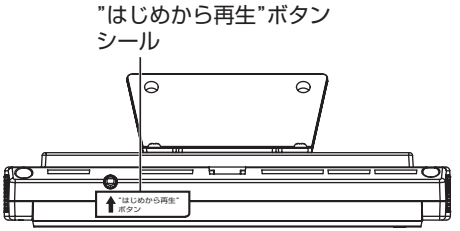
手順2.で取り付けた落下防止ワイヤーの片側を任意の場所に取り付けます。

メモ：

- 別売の専用取付金具を使用する場合は、専用取付金具に添付の説明書に従って設置してください。

”はじめから再生”ボタンシールを本機に貼る

付属品の”はじめから再生”ボタンシールを下図のように本機に貼ります。



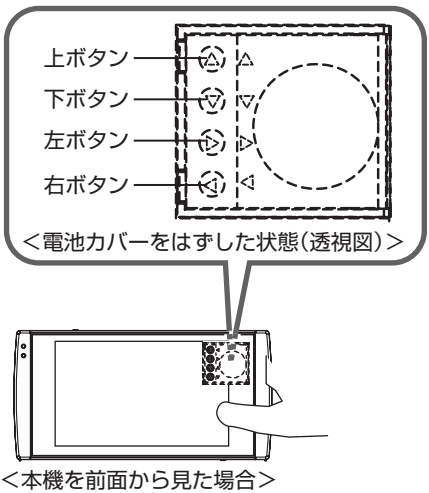
メモ：

- 映像再生中に"はじめから再生"ボタンを押すと、再生可能な映像ファイルすべてをはじめから再生します。必要に応じて使用してください。(☞　５５ページ)

明るさ･音量を調節する

明るさ･音量の調節は､背面の電池カバー内にある 4 つのボタンを使用します。

■ 明るさ・音量調節に使用するボタン



＜本機を前面から見た場合＞

明るさを調節する

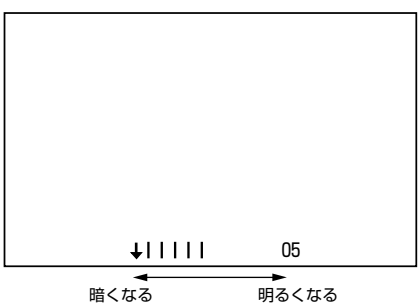
映像の再生中に､上ボタンまたは下ボタンで画面の明るさの調節を行います。

■ 画面を明るくする

上ボタンを押すと､画面が明るくなります。

■ 画面を暗くする

下ボタンを押すと､画面が暗くなります。



音量を調節する

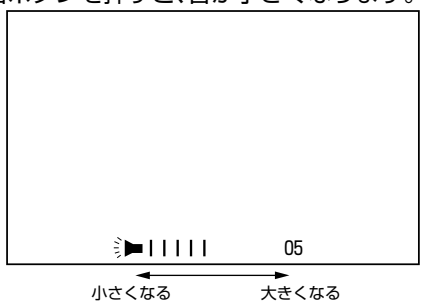
音量の設定は､スケジュール設定(☞ 40 ページ)で行いますが､映像再生中に音量を変更したい場合､左ボタンまたは右ボタンで調節を行います。

■ 音を大きくする

左ボタンを押すと､音が大きくなります。

■ 音を小さくする

右ボタンを押すと､音が小さくなります。



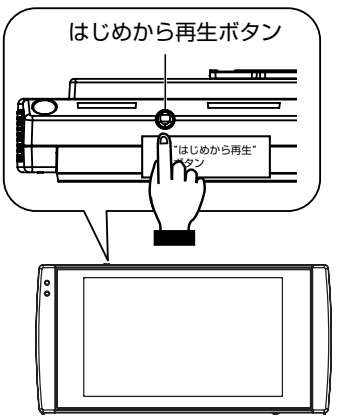
メモ：

- スケジュール設定で設定した音量が画面では"01"と表示されます。

※ 消音で設定した場合は、音量を大きくしても音はでません。

”はじめから再生”ボタンを使う

映像再生中に”はじめから再生”ボタンを押すと、再生可能な映像ファイルすべてを始めから再生します。 付属品の"はじめから再生"ボタン用シールを本機に貼り付けて、使用してください。(☞　５３ページ)



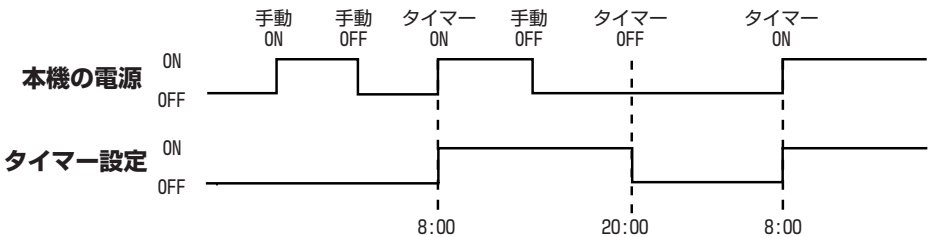
メモ：

- ”はじめから再生"ボタンを押しても、始めから再生しない場合は、メニュー設定項目の『はじめから再生ボタン』をオンに設定してください。
  (☞　２９ページ)

手動で電源を ON/OFF する

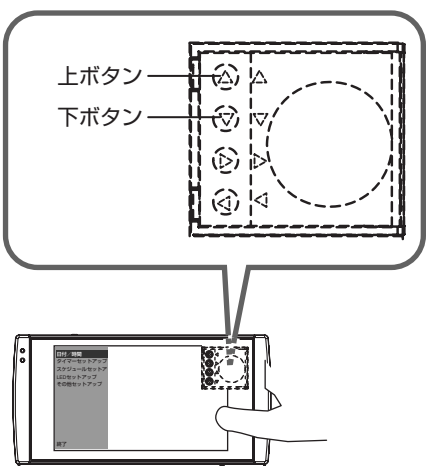
再生時間設定に関係なく、本機の電源を手動でON/OFFします。 タイマー設定の時間外に映像を再生したい場合、もしくは再生中に強制的に OFF したいときに使用してください。

■ 動作例(タイマー設定が、8時～２０時に設定されている場合)
タイマー設定が ON の状態のとき、手動で電源 ON/OFF した場合は、下図のような動作状況になります。



<タイマー設定時に手動で電源ON/OFFしたときの動作状況>

■ 電源 ON/OFF に使用するボタン



手動で電源を ON にする

本機の電源が OFF の状態(画面が黒い状態)のときに、上ボタンと下ボタンを同時に２秒以上押します。

設定モード	画面表示
タイマー設定が ON のとき	電源が ON になり、映像ファイルが再生します ⇒タイマーの終了時間になると電源が OFF します
タイマー設定が OFF のとき	電源が ON になり、映像ファイルが再生します
スケジュール再生のとき	設定時間内: 電源が ON になり、映像ファイルが再生します 設定時間外: 映像ファイルは再生しません

手動で電源を OFF にする

映像再生中に上ボタンと下ボタンを同時に２秒以上押します。
⇒強制的に電源を OFF します。

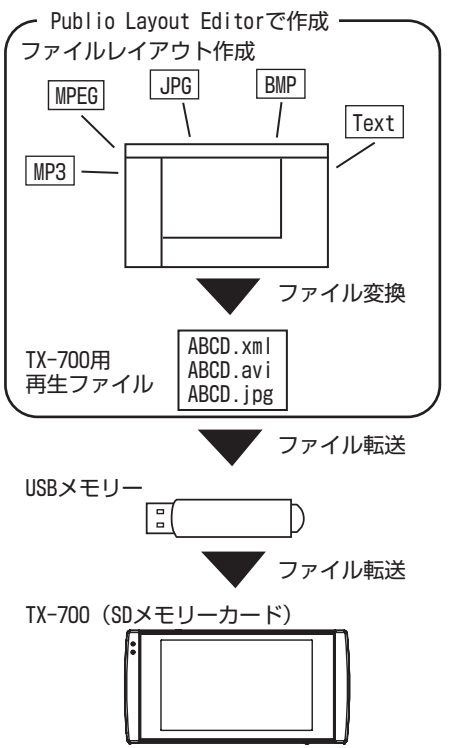
映像ファイルを編集する

- 付属の CD(Publio Layout Editor)を使用して、映像ファイルの動画、静止画の編集やテロップを設定することができます。
- この CD を使用することで、再生スケジュールの設定(☞　３８ページ)を簡単に行なうことができます。

メモ：

- CD(Publio Layout Editor)の使用方法については、CD(Publio Layout Editor)のヘルプをご覧ください。
- 映像ファイルの作成は、映像制作業者におまかせください。

< 映像ファイル作成イメージ >



< CD(Publio Layout Editor)の
推奨 PC 環境 >

■ OS

・Microsoft Windows XP
　32bit 日本語版(Service Pack 2)
・Microsoft Windows Vista
　32bit 日本語版(Service Pack 1)

※ Microsoft .NET Framework2.0 が含まれているもの

■ ハードウェア

・CPU: Intel Pentium 1.0 GHz以上推奨
・Memory: 256MB 以上推奨
・使用ディスク容量: 約 17MB

■ 対応フォーマット

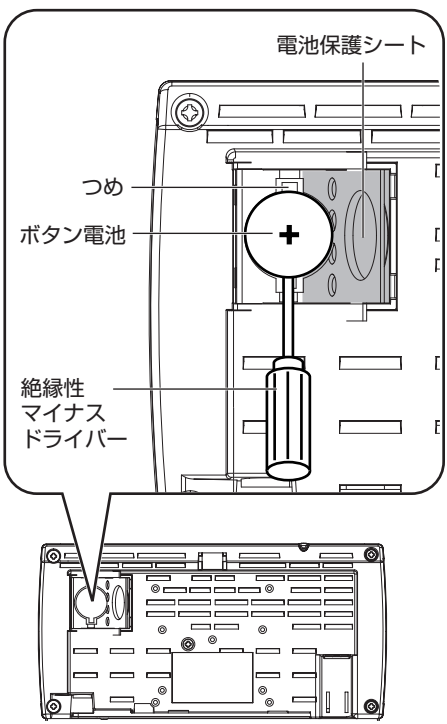
種別	対応フォーマット
ビデオ	MPEG1/2
オーディオ	MP3
静止画	JPG, BMP
背景	背景の色の選択、 または JPG, BMP
テロップ	Text (ダイアログから入力)

時計用ボタン電池を交換する

時計が遅れる状態のときは、ボタン電池の交換時期です。
新しいボタン電池に交換してください。

メモ：
- 電池は、型番 CR2032 を使用してください。
- 電池の交換後は、日付/時間、タイマーなどの設定を再度を行なってください。（☞ 32 ページ）

※ 電源が入っている状態で電池を交換した場合、タイマー設定は維持されます。



1. 本機の電源を切る

ACアダプターをコンセントから抜きます。

メモ：
- タイマー設定を維持したい場合は、電源を切らないでください

2. 電池カバーを取りはずす

背面にある電池カバーを左方向にスライドさせて取りはずします。

3. 電池を取りはずす

電池保護シートをめくり、左図のように、絶縁性のマイナスドライバーを使って取りはずしてください。

ご注意：
- 電源を切った直後は、電池が熱くなっている場合がありますので注意してください。

4. 電池を取り付ける

電池の＋面を上にして、電池側面をつめに引っかけて押し入れてください。

5. 電池カバーを取り付ける

電池保護シートをかぶせて、電池カバーを取り付けます。

マグネット付 L 字金具を使った設置

TX-700 A 付属のマグネット付 L 字金具を使って、平らな場所に本機を設置します。

L 字金具を使って設置をする

ご注意：

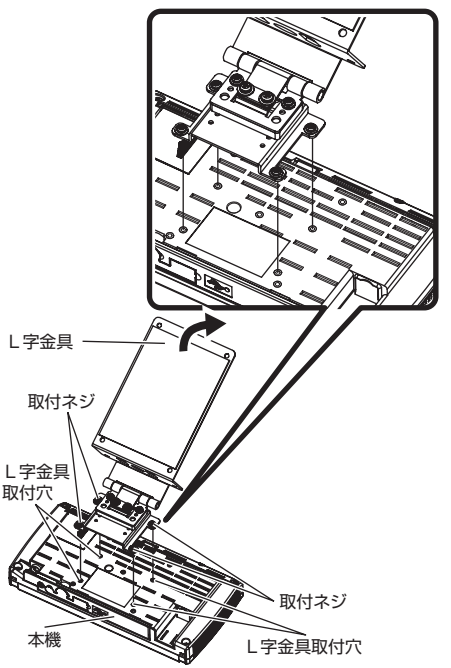
- 水平な場所に設置してください。
- 本機上部から負荷をかけないでください。本機が落下するなどけがの原因になる場合があります。
- 下記のことに注意して、設置してください。
  - ・電源コードや本機の液晶パネルなどに傷がつかないか。
  - ・部分的に応力が加わっていないか。

1. 本機に L 字金具を取り付ける。

L 字金具を矢印方向に倒し、プラスドライバーを使って取付ネジを L 字金具取付穴に取り付けます。

ご注意：

- L 字金具を本機に取り付けるとき、落下防止のため取付ネジを確実に締め付けてください。ただし、強く締め付けすぎると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となる場合があります。
- 液晶パネルに傷がつかないように、柔らかい布などを敷いて作業してください。

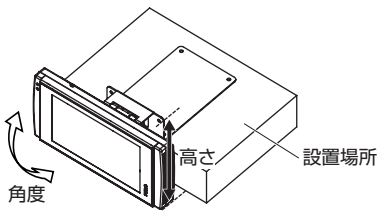


次のページへつづく...

マグネット付 L 字金具を使った設置（つづき）

2. 高さや角度を確認する。

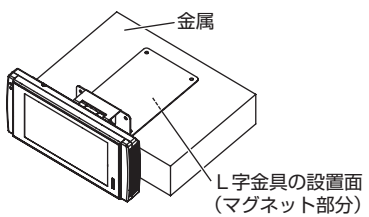
必要に応じて、画面の映像が見やすい位置に調節します。
詳細は、次のページ「高さ・角度を調節する」をご覧ください。



3. 設置場所に取り付ける。

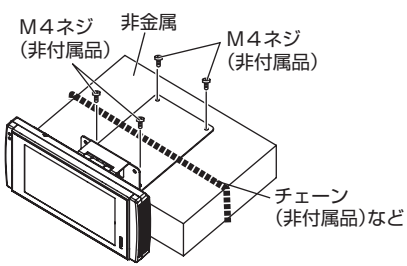
■ 設置場所が金属の場合

L 字金具の設置面（マグネット部分）を、設置場所の金属面に貼り付けて固定します。
このとき、補強としてガムテープなどで固定することをおすすめします。



■ 設置場所が非金属の場合

L 字金具の設置面を、M4 ネジ、チェーンなどでしっかり固定します。
このとき、補強としてガムテープなどで固定することをおすすめします。

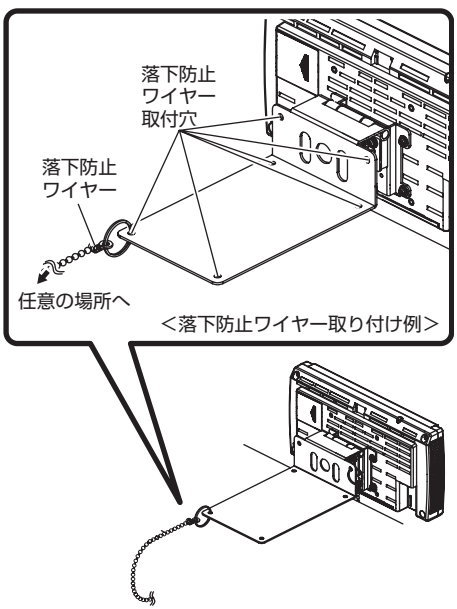


4. 落下防止ワイヤー（非付属品）をL字金具に取り付ける。

設置場所に応じた任意の場所と、落下防止ワイヤー取付穴のどれかに取り付けます。

ご注意：

- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質などにも十分注意してください。

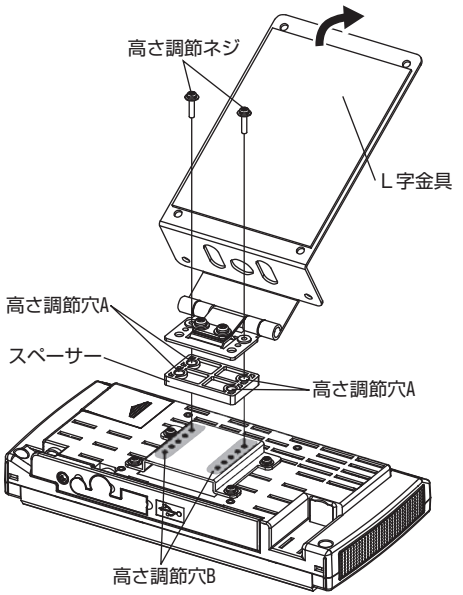


高さ・角度を調節する

液晶画面が見やすい位置に調節します。

■ 高さを調節する

1. L 字金具を矢印方向にたおす。
2. 高さ調節ネジをゆるめ、L 字金具とスペーサーを取りはずす。
3. 設置場所に応じて下図のように、高さ調節穴 A と、高さ調節穴 B のどれかを合わせ L 字金具とスペーサーを取り付ける。



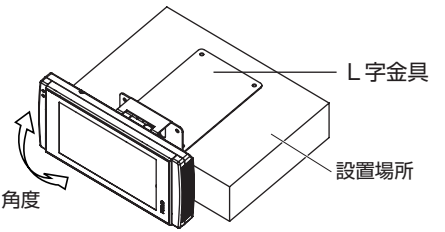
＜高さ調節例＞

ご注意：

- 液晶パネルに傷がつかないように、柔らかい布などを敷いて作業してください。

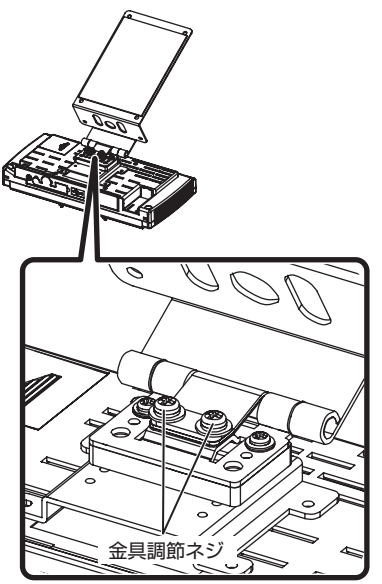
■ 角度を調節する

L 字金具を押さえながら、本機を矢印方向に動かし調節します。



メモ：

- 本機を動かして角度を調節する場合に動きが固かったり緩いときは、金具調節ネジを緩めたり、締めて調節してください。
  緩めるときは、緩めすぎて金具調節ネジがはずれないように注意してください。



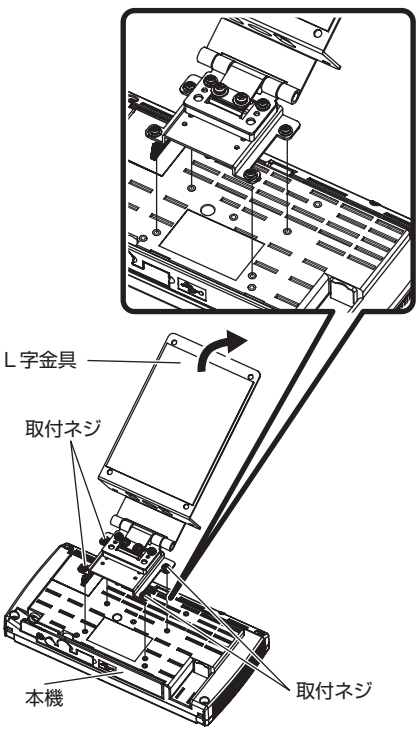
マグネット付Ｌ字金具を使った設置(つづき)

本機からＬ字金具を取りはずす

梱包箱に入れるときなどに､本機から Ｌ 字金具を取りはずします。

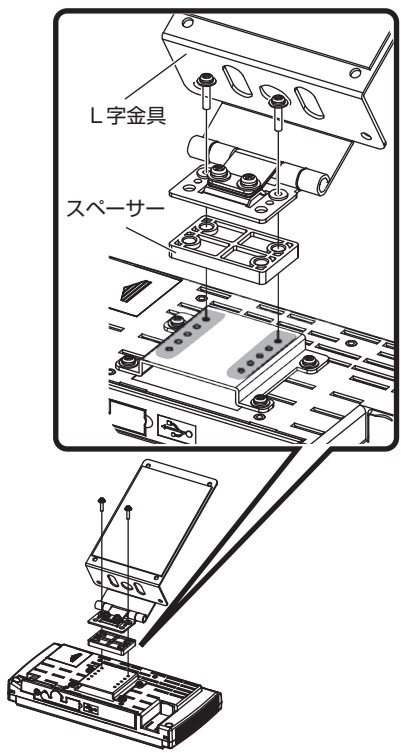
1. **Ｌ字金具を矢印方向にたおす。**

2. **プラスドライバーを使って、取付ネジをゆるめる。**



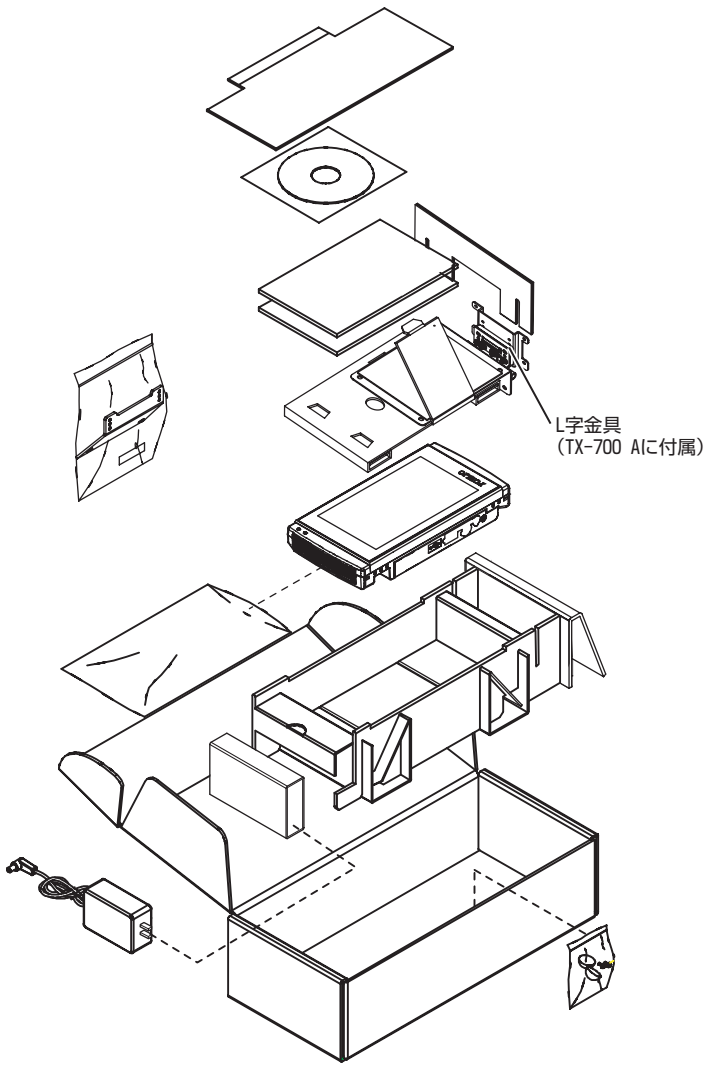
メモ：

- 取り付け時に高さ調節をしていると､L字金具がかぶさり取付ネジがはずせない場合があります。
  このときは､L字金具とスペーサーを下図の位置に取り付け直してからL字金具を取りはずしてください。



梱包のしかた

本機を輸送される時は、下記の内容に従って梱包してください。



こんなときは

修理依頼をされる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない / 黒画面の状態	電源プラグがゆるんだり、はずれている。	電源プラグを確実に差し込んでください。
	タイマーでオフになっている。（タイマーランプ　赤）	背面の上ボタンと下ボタンを同時に押してください。☞ 56 ページ
音がでない	音量が最小になっている。	背面の操作ボタンでお好みの音量に調節してください。☞ 54 ページ
再生されないファイルがある	ファイルの選択が " 再生しない " になっている。	スケジュール設定でファイルの選択を " 再生する " にしてください。☞ 34 ページ
スケジュール再生ができない	" ループ再生 " になっている。	スケジュール設定を " スケジュール再生 " にしてください。☞ 39 ページ
はじめから再生ボタンが効かない	はじめから再生ボタン設定が "OFF" になっている。	メニュー機能にあるその他の設定のはじめから再生ボタンを "ON" に設定する。☞ 29、30 ページ
USB メモリーから転送できない / 本機が USB メモリーを認識しない	USB メモリーのボリュームラベルが違っている。	ボリュームラベルを「TX-700」(半角英数字) にする。ボリュームラベル
	USB メモリーが本機に適合しない。	使用できる USB メモリーについては、お買い上げ販売店にお問い合せください。
TX-700 で使用した SD メモリーカードがパソコンで読めない	TX-700 専用のフォーマットのため、パソコンでは読めません。	パソコンでフォーマットしてください。ただし、SD メモリーカード内のデータはすべて消去されます。
SD メモリーカードのフォーマット（初期化）の際にエラーメッセージが表示される	SD メモリーカードの端子が汚れている。	本機の電源を切ってから SD メモリーカードを取り出し、下記を行なってください。 ● SD メモリーカードの端子を清掃する。 ● SD メモリーカードを本機に挿入し、電源を入れる。 ● 再度、SD メモリーカードのフォーマットをする。☞ 21 ページ
	SD メモリーカードが本機に適合しない。	使用できる SD メモリーカードについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
USB メモリーの映像ファイルを SD メモリーカードに転送する際にエラーメッセージが表示される	USB メモリーの端子が汚れている。	本機の電源を切ってから USB メモリーを抜き、下記を行なってください。 ● USB メモリーの端子を清掃する。 ● 本機の電源を入れ、再度 SD メモリーカードをフォーマットする。☞ 21 ページ ● 再度、USB メモリーを本機に差し込み、映像ファイルを SD メモリーカードに転送する。☞ 24 ページ
	USB メモリーが本機に適合しない。	使用できる USB メモリーについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

保証とアフターサービスについて

■保証期間について

保証期間は工場出荷日より 1 年間です。

お買い上げ販売店、もしくは背表紙に記載のサポート担当が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理についてはお買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明の点は、お買上げ販売店、または本書背表紙のサービス窓口案内にご相談ください。

■保証範囲について

保証期間、アフターサービスとも日本国内のみ有効です。

■修理を依頼されるときは

お買上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

- 品名：メモリーカードプレーヤー
- 品番：TX-700
- お買い上げ日：
- 故障の状況：故障の原因をできるだけ具体的に
- ご住所：
- ご氏名：
- 電話番号：

■商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

■表示部（LCD）表示

液晶パネル	7 型 TFT カラー液晶
有効表示エリア	154.08 mm(H) × 86.58 mm(V)
画素構成	480 × RGB × 234 画素
コントラスト比	400：1
視野角	左右 65 度、上 40 度、下 65 度
白色表面輝度	250 cd/ ㎡ (パネルセンター、25 ℃の時)
バックライト	LED 方式

■音声出力

ステレオスピーカー	1.0 W+1.0 W
音声調節ボリューム	本体背面 操作ボタン内

■メモリーカードスロット

SD メモリーカード	カードスロット× 1 ※最大 2GB まで対応 ※SD メモリーカードは添付されていません

■再生可能ファイル

動画フォーマット	映像：MPEG4 SP 2.5 Mbps 音声：ADPCM
再生静止画フォーマット	JPEG
音声フォーマット	MP3

※パブリオ・レイアウト・エディターでの作成が必要となります。

■時計部

リアルタイムクロック	24 時間タイプ 00:00-23:59
時刻設定	現在時刻の設定
タイマー設定	再生開始時刻、終了時刻の設定

■消費電流

AC 0.4 A(MAX)

■電源（AC アダプター）

使用電源電圧 / 周波数	AC100 V(± 10 %) 50 Hz / 60 Hz
出力	DC5 V 3 A
ケーブル長	本体から AC アダプターまで：約 1800 mm

■外形寸法、質量

本体

外観	モールドキャビネット
外形寸法	約 229 mm × 115 mm × 38 mm (幅×高さ×奥行) (突起物を含まず)
質量	約 600 g (SD メモリーカード、電池を含まず)

梱包時

外形寸法	約 386 mm × 100 mm × 172 mm (幅×高さ×奥行)
質量	約 1250 g

■動作環境条件

温度	0 ℃～ 40 ℃
湿度	20 % ～ 80 % (ただし結露なきこと)

■保存環境条件

温度	-5 ℃～ +50 ℃
湿度	20 % ～ 80 % (ただし結露なきこと)

■電池

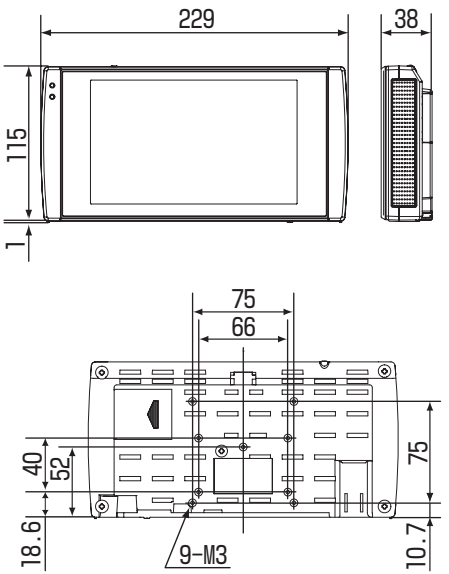
タイマー用電池（CR2032）出荷時内蔵済み

■付属品

AC アダプター	× 1
取扱説明書	× 1
TX-700 で利用されているオープンソースソフトウェアについて	× 1
CD（パブリオ･レイアウト･エディター）	× 1
簡易スタンド	× 1
スタンド取付ネジ (M3)	× 2
" はじめから再生 " ボタン用シール	× 1
フット	× 2

■外形寸法図

(単位：㎜)



※使用するネジの長さは、４㎜以下のこと。

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TX-700 メモリーカードプレーヤー

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居などでお困りの場合は、下記のご相談窓口に相談ください。
営業時間/月～金　9:00～17:00（祝日および当社休日を除く）

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビジネス・ソリューション事業部 品質保証部　CSグループ	サービス以外のご相談 ビジネス・ソリューション事業部 プレゼンテーションビジネスユニット マーケティンググループ／BPチーム
電話（045）443-3244 FAX（045）443-3248	電話（045）443-3158 FAX（045）443-3166

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12　　電話（045）443-3158

© 2010 Victor Company of Japan, Limited

LST0686-001I